

# 鳥取県がん登録事業報告書

平成24年標準集計結果

平成29年3月

鳥 取 県

鳥取県健康対策協議会

## はじめに

この度、鳥取県健康対策協議会・がん登録対策専門委員会により、「鳥取県がん登録事業報告書、平成24年標準集計結果」が作成されました。これも、ひとえに日頃よりご協力、ご支援いただいております届出医療機関の方々のご尽力の賜と心より深く感謝申し上げます。

2016年1月より全国がん登録の運用が開始されました。そして全国がん登録に罹患情報を届出いただく病院・指定診療所として多くの医療機関が手を挙げていただき、ありがとうございました。2016年より全国がん登録に向けての罹患情報の報告が始まりましたが、現時点では、「全国がん登録届出支援サイト」からの電子届出ファイル（PDFファイル）による届出しか運用されておらず、まだ例年のほんの一部の届け出しか受け付けられていないのが実情です。登録の中心になるはずのオンラインでのがん登録システムが運用開始になっていないため、いまだに全国がん登録が本格運用されているとは言えません。より精度の高い、網羅性のある全国がん登録システムですが、全国統一の高いレベルでのがん情報の把握と、その追跡による生存率が公表できるレベルになるまでは、まだまだ先になりそうです。

鳥取県の地域がん登録室は、2017年1月5日に日本がん登録協議会による安全管理措置に係る外部監査を全国で初めて受けました。鳥取県地域がん登録では、小規模であることもあり、かなりの業務をがん登録室内で完結するようにしており、個人情報漏えい等安全管理上の重大な問題点の指摘はありませんでした。

鳥取県の地域がん登録のこれまでの膨大なデータを有効に活用し、県民の命を守るためのがん対策の立案や評価に用いるためには、今後も鳥取県の精度の高いがん登録を継続運用していかななくてはなりません。全国の国民、医療関係者等に役立ててもらえる、本当に欲しい情報が正確に得られるには、まだまだ時間がかかり、当面は医療機関の先生方には、がんの情報を報告していただくだけになり恐縮ですが、将来のがん対策の評価と推進のためには必須の取り組みですので、なにとぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。がん登録制度のさらなる推進と登録精度の向上のため、本報告書が少しでもお役にたてれば幸いですと考えております。

届出していただいております医療機関におかれまして、今後ともご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年3月

鳥取県健康対策協議会　がん登録対策専門委員会  
委員長　尾崎米厚

# 目 次

I. がん登録事業の概要	1
1. 鳥取県がん登録の目的	
2. がん登録の対象	
3. 登録事項	
4. 登録のながれ	
鳥取県における地域がん登録の流れ	4
指標の解説	5
II. 鳥取県における平成24年がん罹患・受療状況標準集計結果	6
1. 粗罹患率および年齢調整罹患率	
2. 部位別罹患・死亡割合と年次推移	
3. がん罹患の年次推移	
4. がん罹患の地域別比較	
5. 年齢階級別がん罹患率	
6. がんの受療状況	
7. がん患者の医療機関からの届出状況	
8. 鳥取県における登録精度	
III. 報告資料（医師会報掲載分）	20
報告資料1 第25回地域がん登録全国協議会学術集会報告	
報告資料2 平成28年度がん登録対策専門委員会報告（一部抜粋・改変）	
報告資料3 平成28年医療機関別・部位別年間届出件数	
IV. 資料	
資料1-1 部位別・受診動機別集計結果（実数・%）	35
資料1-2 診断方法（新届出票）	36
資料1-3 臨床進行度分布（%）部位別（上皮内がんを除く）	
資料1-4 臨床進行度分布（%）部位別（上皮内がんを含む）	

資料 2-1	部位別・治療方法別患者割合 (%)	.....	37
資料 2-2	治療状況の年次推移		
資料 3-1	主要病院別届出件数の年次推移	.....	38
資料 3-2	医療機関別届出件数の年次推移 (グラフ)	.....	39
資料 3-3	平成 27 年主要病院・部位別届出集計		
資料 4-1	鳥取県における登録精度 (DCN) の年次推移	.....	40
資料 4-2	鳥取県における組織診実施割合 (HV/I%) の年次推移	.....	41
資料 5-1	鳥取県がん罹患集計結果一覧表 (平成 24 年 男性)	.....	42
資料 5-2	鳥取県がん罹患集計結果一覧表 (平成 24 年 女性)	.....	43
資料 5-3	鳥取県がん罹患集計結果一覧表 (平成 24 年 総数)	.....	44
資料 6	平成 24 年・市郡別罹患数	.....	45
資料 7	平成 24 年・市郡別年齢調整罹患	.....	46
資料 8-1	平成 24 年 標準化罹患比 (全国 = 100)	.....	47
資料 8-2	平成 24 年 標準化死亡比 (全国 = 100)		
資料 9-1	主要部位・性別罹患数の年次推移 (鳥取県・全国)	.....	48
資料 9-2	主要部位・性別死亡数の年次推移 (鳥取県・全国)		
資料 10-1	主要部位別年齢調整罹患率および死亡率の全国比較 (男性)	.....	50
資料 10-2	主要部位別年齢調整罹患率および死亡率の全国比較 (女性)	.....	51
資料 11-1	主要部位・性別罹患数の年次推移 (東部・中部・西部)	.....	52
資料 11-2	主要部位・性別年齢調整罹患率の年次推移 (東部・中部・西部)	.....	53
V. 参考資料			..... 54
参考資料 1	鳥取県がん登録事業実施要綱		
参考資料 2	登録情報の提供および疫学研究等での利用手続き		
参考資料 3	「鳥取県がん登録届出票」		
参考資料 4	「鳥取県がん登録届出票届出記入要領」		
平成 28 年度がん登録対策専門委員会名簿・編集後記			..... 62

(註) 年齢調整罹患率：全部位、食道、結腸、直腸、肺、乳房、子宮および膀胱については上皮内癌を含めた全国推計値を参照して求めた数値。

# I. がん登録事業の概要

鳥取県における地域がん登録は、昭和44年、45年の悪性新生物調査を基盤とし、昭和46年からは鳥取県医師会、鳥取県、鳥取大学医学部の三者で構成される「鳥取県健康対策協議会」発足と同時に、がん対策専門委員会（昭和59年よりがん登録専門委員会と改称）が「鳥取県腫瘍登録」（通称がん登録）として実施・運営を行っている。

本事業の特徴は、県内の事業に加えて、厚生労働省のがん登録特別研究助成金による研究班に参加することで、現在全国で46都道府県1市ががん登録を実施している。ルーチン作業としては、各年度の標準集計であり、3年遅れで全国の集計結果を発表している。

1992年からは「地域がん登録全国協議会」の発足に伴い鳥取県も参画し、地域がん登録の精度向上と活用ならびに登録技術・情報の交換を目的にした活動をおこなっている。

## 1. 鳥取県がん登録の目的

鳥取県内のがん登録情報を基にして、がん予防活動の推進、がん医療の向上と評価を目的とする以下の諸活動を行うことによって、県民の健康の保持増進に資することを、最終目標とする。

- (1) 罹患数および罹患率の集計と動向の把握
- (2) がん患者の受療状況の把握
- (3) 登録患者の生存率の測定と動向の把握
- (4) がん予防、医療活動の企画のための基礎資料の提供ならびに評価
- (5) 医療機関との情報交流
- (6) 疫学研究への活用
- (7) 年度毎に採択される課題研究の実施

## 2. がん登録の対象

- (1) 鳥取県居住者で下記の疾患と診断／疑診された者、または死亡した者である。
  - 1) 悪性新生物（ICD-10のC00-96）
  - 2) 上皮内癌（ICD-10のD05-D06）
  - 3) 性質不詳の新生物（ICD-10のD37-D48）この中には、良性と明記されていない脳腫瘍、内分泌腫瘍を含んでいる。
- (2) 鳥取県内居住者であって死亡した者のうち、死亡票のいずれかの欄に悪性新生物の記載、または性質不詳の悪性新生物の記載のある者も対象としている。なお、最終的に死亡票の情報のみで登録された者は「死亡日」を「診断日」として、「罹患数」に加えている。

## 3. 登録事項

がん登録は、登録対象者に係る次に掲げる事項について登録する。

- (1) 届出医療機関
- (2) 氏名
- (3) 性別
- (4) 生年月日

- (5) 現住所
- (6) 診断名
- (7) 病理組織診断名
- (8) 病巣の拡がり
- (9) 初診年月日
- (10) 受診の動機
- (11) 診断・疑診年月日
- (12) 診断根拠
- (13) 治療方法
- (14) 現在の状態
- (15) 前医療機関
- (16) 紹介医療機関

#### 4. 登録のながれ

(1) 医師が県内居住者の悪性新生物、または性質不詳の新生物を診断または疑診したとき、あるいはそのような患者の死亡したときは、届出票記入要領に従って、「鳥取県がん登録届出票」に所定の事項を記入し、「返信用封筒」を用いて、鳥取県医師会腫瘍調査部に送付する。平成 19 年 11 月からは主要医療機関からの届出は電子媒体によって行っている。

また、医師は腫瘍調査部から「問い合わせ票」、「追跡票」または「補充票」を受け取ったときには、同様に所定の事項を記入し、「返信用封筒」を用いて返送する。

(2) 鳥取県医師会腫瘍調査部は、医療機関から送付された月間の「届出票」および回答された「問い合わせ票」または「追跡票」について、既に届出られている者に関する「届出票」か否かを調べ、同一人の記録がレコード・リンケージされるようにデータ入力を行う（原票登録処理）。

次いで「届出票」に記入もれや疑義、または不明な点が発見されれば「問い合わせ票」と「問い合わせ依頼状」とを作成して、届出た医療機関に問い合わせる。

(3) 「届出票」の項目 (15)、(16)に記入されている医療機関から、その患者について届出がなされていない場合は、その記入されている医療機関宛に、「問い合わせ票」と「問い合わせ依頼状」とを作成して送付する。

(4) 鳥取県医師会腫瘍調査部は、毎月、所定の届出処理が終わった「腫瘍登録データ」および「届出票」と回答された「問い合わせ票」を鳥大医学部環境予防医学分野に送付する。

(5) 鳥大医学部環境予防医学分野は、県医師会腫瘍調査部から送付された「腫瘍登録データ」に基づいて、毎月、既登録の「腫瘍登録データ」と照合し未登録であれば、登録番号を発行して「腫瘍登録データ」に記入する。

(6) 死亡小票照合は、鳥取県福祉保健部の協力によって鳥大医学部環境予防医学分野が行うもので、「腫瘍登録データ」と死亡小票の照合を行って、「腫瘍登録データ」中の死亡者の確認と、未登録の悪性新生物または性質不詳の新生物による死亡者の発見を行うものである。毎年 1 回行うものとする。

(7) 死亡小票照合によって、「腫瘍登録データ」中の死亡が確認された者は、死亡小票から必要事項を転記する。

(8) 「腫瘍登録データ」以外の死亡小票中悪性新生物または性質不詳の新生物による死亡者は、「補充票」に死亡小票から必要事項を転記し、死亡診断書作

成の医療機関に「補充票」と「補充票届出依頼状」とを送付して届出を求める。

- (9) 鳥取大医学部環境予防医学分野は、年1回の標準集計に基づく腫瘍登録データを利用して、罹患および死亡状況についての集計解析を行い、所定の統計表並びに腫瘍データリストを作成する。

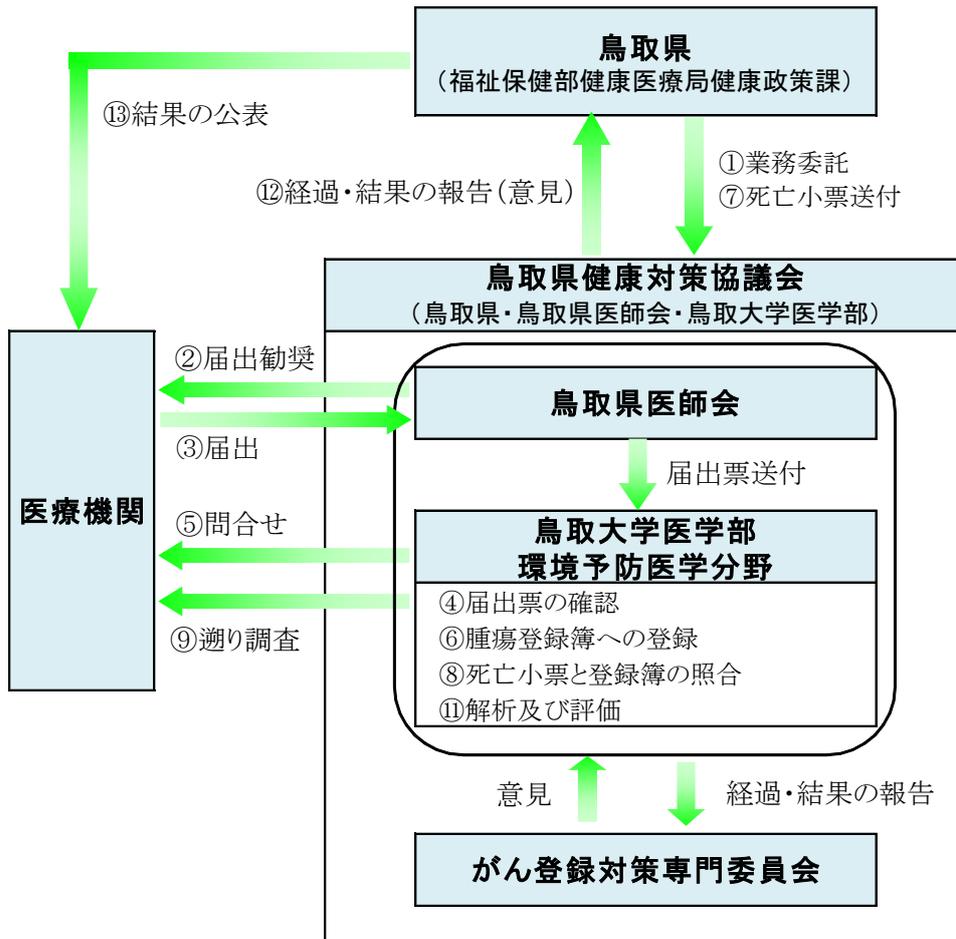
集計結果は、毎年、年単位で鳥取県医師会腫瘍調査部および鳥取県健康対策協議会がん登録対策専門委員会によって「鳥取県がん登録事業報告書」としてにまとめられ、協力医療機関をはじめとして、市町村、県外がん登録室に送付される。また、ホームページにもPDFとして掲載される。

以上の作業によって「腫瘍登録」患者は少なくとも毎月、記録の追加、訂正、更新が行われることとなり、罹患状態並びに死亡状態について届出医療機関との間で処理の細かい情報交流が行われることになる。

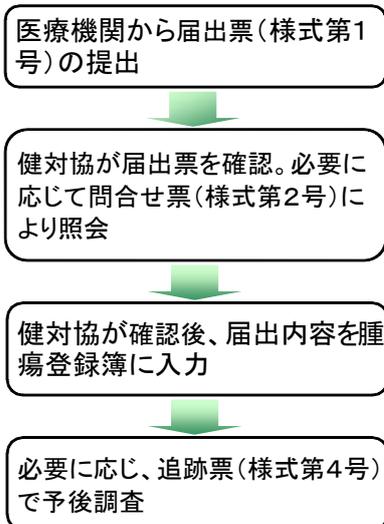
なお、集計時期については以下の考えに従って3年遅れの集計を実施している。

がん（悪性新生物）は、診断確定の難しい疾病であり、治療期間も長期に及ぶ。そのため、届出が遅れることを想定し、集計は、診断年の少なくとも2年以降に行うことが、厚生労働省がん研究助成金による「地域がん登録」研究班が発行した「地域がん登録の手引き」で定められている。これを「標準集計」としており、本県もこれに従って毎年実施している。

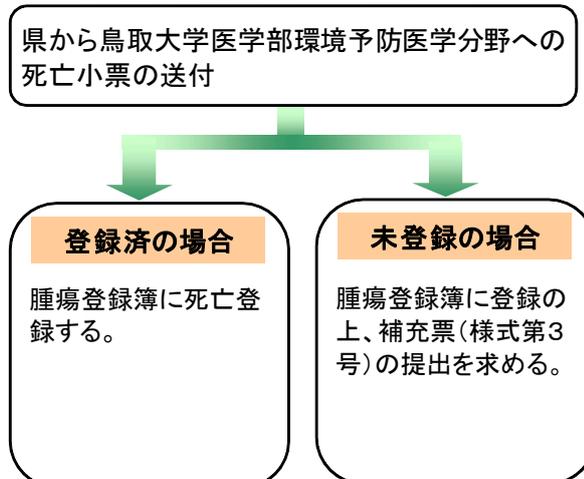
■鳥取県における地域がん登録の流れ



届出票による登録



死亡小票による登録



## 指 標 の 解 説

### 1 罹患数、届出患者数

届出患者数は、医療機関より届出があった患者が初めて悪性新生物と診断された年月日をもとに、集計対象年（その年の1月1日より12月31日まで）のがん患者の届出の数である。

罹患数は、届出患者数と届出がなく集計対象年の死亡情報により悪性新生物で死亡した患者数の合計数のことである。

### 2 死亡数

厚生労働省人口動態調査死亡票鳥取県分による。

$$3 \text{ 罹患率 (死亡率)} = \frac{\text{罹患数 (死亡数)}}{\text{人 口}} \times 100,000$$

$$4 \text{ 年齢調整罹患率} = \frac{\left\{ \left[ \begin{array}{l} \text{観察集団の年齢階級} \\ \text{別罹患率 (死亡率)} \times \text{年齢階級別人口} \end{array} \right] \times \text{標準人口のその} \right\} \text{の年齢階級の総和}}{\text{標準人口の総和}} \times 100,000$$

$$5 \text{ 罹患数のうち死亡情報で初めて登録された者の割合 (DCN 割合)} = \frac{\text{死亡情報で初めて登録した数}}{\text{対象年の罹患数}} \times 100$$

毎年集計する対象年のがんに罹患した者（罹患数）の中で、死亡情報で初めて把握された（医療機関からのがんの届出なし）者の割合を表す。この値が低いほど、地域がん登録の精度が良いことになる。

$$6 \text{ 罹患数のうち死亡情報のみで登録された者の割合 (DC0 割合)} = \frac{\text{死亡情報のみの登録数}}{\text{対象年の罹患数}} \times 100$$

毎年集計する対象年のがんに罹患した者（罹患数）の中で、死亡情報のみで把握された（医療機関からのがんの届出なし）者の割合を表す。この値が低いほど、地域がん登録の精度が良いことになる。

$$7 \text{ 組織診断の実施割合} = \frac{\text{病理診断を行った患者数}}{\text{罹患数 (届出患者数)}} \times 100$$

収集された資料の医学的信頼度を示すために用いる。この指標は死亡情報も含めた罹患数に対する組織診断の実施割合（H/I）と医療機関より届出があった罹患数（届出患者数）に対する組織診断の実施割合（H/R）とがある。

$$8 \text{ 罹患/死亡比 (I/M)} = \frac{\text{罹患数}}{\text{死亡数}}$$

集計対象年の悪性新生物の罹患数が、その年の悪性新生物の死亡数の何倍かを示す。この値が、1.5～2.0であれば、届出の漏れが少ないと判断できる。

### 9. 標準化罹患（死亡）比

= 実際の罹患（死亡）数 / 期待罹患（死亡）数 × 100 …… 全国を100とした場合の罹患（死亡）比

## 鳥取県における平成24年がん罹患・受療状況標準集計結果

### 1. 粗罹患率および年齢調整罹患率

#### a) 罹患集計

厚生労働省がん登録研究班のがん罹患の標準集計方式に従い平成24年(2012年)の罹患集計を行った。がんの全部位では罹患総数5,155件(男2,945、女2,210)で、人口10万対粗罹患率は男1,061.4、女726.0であった。

年齢調整罹患率(標準人口は60年日本人モデル人口)は、男540.3、女391.3であった。

部位別に見ると、鳥取県における罹患割合は、男は胃が最も高く(17.6%)、次いで肺(13.4%)、前立腺(12.1%)、結腸(10.8%)が高く、女では乳房(15.7%)、胃(12.4%)、結腸(11.4%)、肺(9.3%)の順となった(表1)。年齢調整罹患率は、男では胃94.4、肺70.9、前立腺59.3、女では乳房が87.0でトップ、次いで、子宮が72.1、胃36.9の順となった(表1)。

地域別の標準化罹患比(全国値=100)では、東部では男女の胃、男の肝臓、女の直腸、中部では男の胃、女の肺、西部では男の肝臓、女の胃が高い罹患比を示した。統計的に有意なものは胃では男女の東部、結腸では女の中中部、肝臓では男の東部、西部、乳房では女の東部において有意水準5%で有意となった(表2)。

表1 鳥取県における性、主要部位別がん罹患状況—平成24年(2012年)—

男	罹患数	罹患割合	粗罹患率	調整罹患率	全国推定罹患率 <sup>1)</sup>	標準化罹患比 <sup>2)</sup>
全部位	2,945	100.0	1061.4	540.3	484.6	110.7
食道	127	4.3	45.8	24.1	17.2	139.7
胃	519	17.6	187.1	94.4	79.6	116.2
結腸	319	10.8	115.0	57.6	57.8	103.1
直腸	174	5.9	62.7	35.0	35.9	98.2
肝臓	183	6.2	66.0	33.4	25.2	130.3
胆嚢・胆管	65	2.2	23.4	10.1	9.4	106.7
膵臓	103	3.5	37.1	18.5	15.9	115.5
肺	394	13.4	142.0	70.9	64.5	102.5
前立腺	357	12.1	128.7	59.3	60.5	100.4
膀胱	127	4.3	45.8	21.5	21.8	97.6
悪性リンパ腫	55	1.9	19.8	10.7	14.9	73.6

女	罹患数	罹患割合	粗罹患率	調整罹患率	全国推定罹患率 <sup>1)</sup>	標準化罹患比 <sup>2)</sup>
全部位	2,210	100.0	726.0	391.3	367.0	105.3
食道	17	0.8	5.6	2.6	2.8	86.4
胃	274	12.4	90.0	36.9	28.3	122.5
結腸	252	11.4	82.8	35.9	35.0	95.8
直腸	105	4.8	34.5	16.4	15.6	103.8
肝臓	87	3.9	28.6	8.7	9.0	103.9
胆嚢・胆管	77	3.5	25.3	6.3	5.9	112.3
膵臓	100	4.5	32.8	12.0	10.4	107.5
肺	205	9.3	67.3	25.2	25.0	105.2
乳房	347	15.7	114.0	87.0	94.2	88.0
子宮	219	9.9	71.9	72.1	68.8	104.8
卵巣	55	2.5	18.1	12.0	10.5	120.4
膀胱	44	2.0	14.5	4.9	3.8	119.8
悪性リンパ腫	61	2.8	20.0	9.5	9.3	102.6

1)全国推定罹患率は—平成24年(2012年)—データを使用 2)黄色の塗りつぶしは、5%の有意水準で有意であることを示す

## 2. 部位別罹患・死亡割合と年次比較

鳥取県における罹患割合は、男は胃が最も高く（17.6%）、次いで肺（13.4%）、前立腺（12.1%）が高く、女では乳房（15.7%）胃（12.4%）、の順となった（表1）。全国と比較すると、男はほぼ一致した。（図1）。罹患・死亡割合の1989年と2012年の年次比較をみると、罹患・死亡割合とも胃、子宮で減少、とくに胃の死亡と子宮の死亡割合は半減している。逆に、顕著に増加した部位は男女とも結腸で、死亡・罹患割合とも2倍から3倍に増加した。また、女の肺、乳房は死亡・罹患割合とも増加した（図2-1、図2-2）。

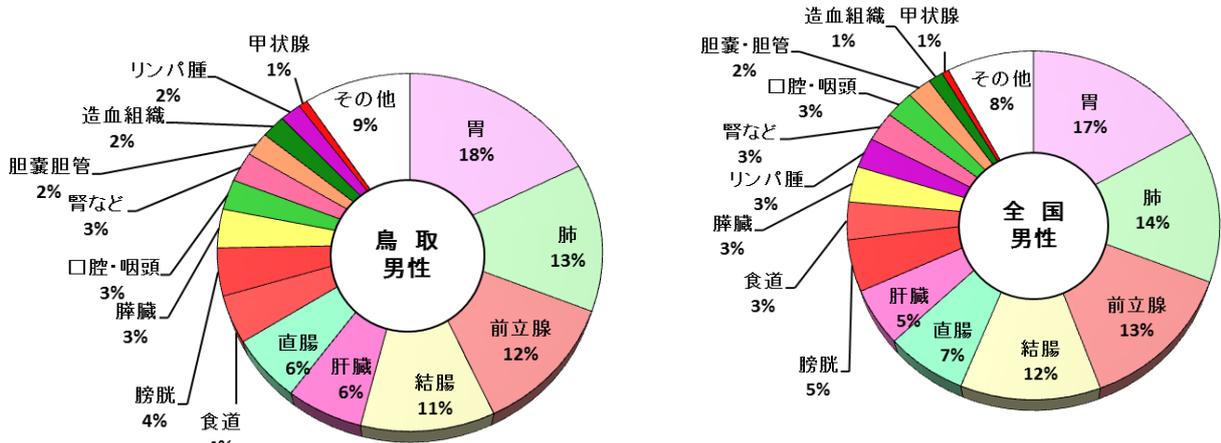


図1 罹患割合の性別・全国比較  
(2012年)

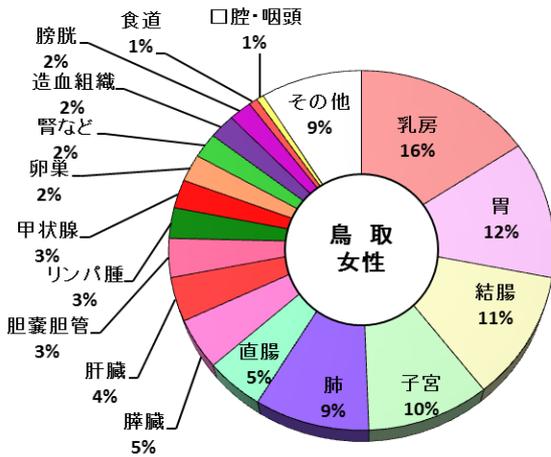


図2-1 罹患・死亡割合の年次比較 (男)

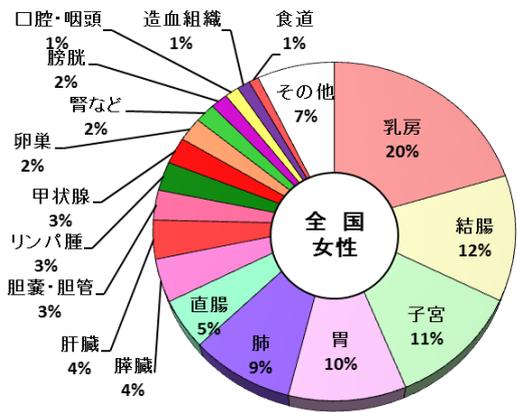
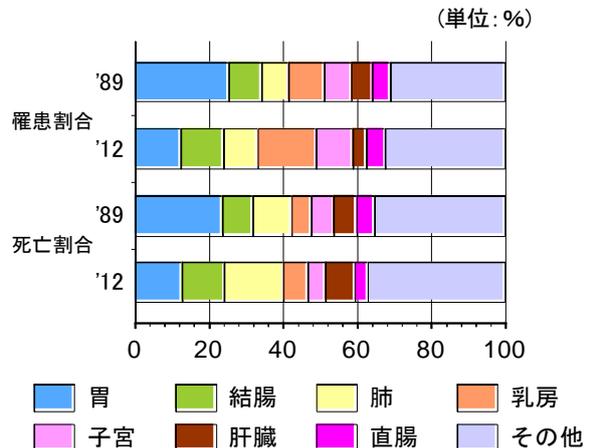
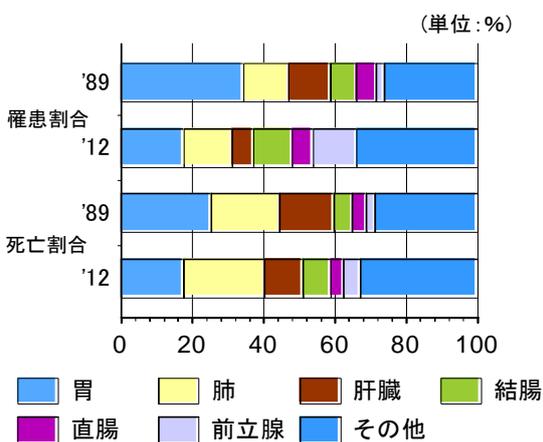


図2-2 罹患・死亡割合の年次比較 (女)



### 3. がん罹患の年次推移

#### a) 罹患数

男の胃、結腸、前立腺、膵臓、女では乳房、子宮、直腸、肝臓において罹患の増加傾向が観察された。

男の前立腺では、1979-80年の21件から356件の17倍もの顕著な増加を示した(図3-1, 図3-2)。

#### b) 年齢調整罹患率

前年(2011年)に比べて2012年は、男女の肝臓で減少傾向が見られた。男は結腸、女は胃、乳房、子宮で増加傾向が観察された(図4-1, 図4-2)。

一方、調整死亡率の推移は、男は肺、肝臓、直腸に減少傾向が見られ、女は胃、直腸、肝臓、肺、乳房で減少傾向が見られた。しかし、男の胃、結腸、女の結腸、子宮は増加傾向を見た(図5-1, 図5-2)。

図3-1 鳥取県における部位別がん罹患数の年次推移(男)

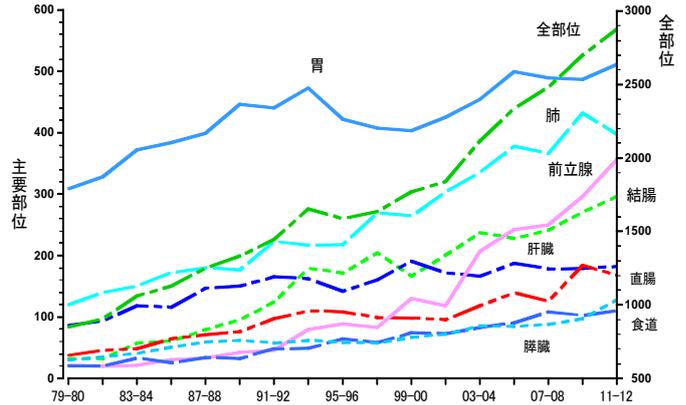


図3-2 鳥取県における部位別がん罹患数の年次推移(女)

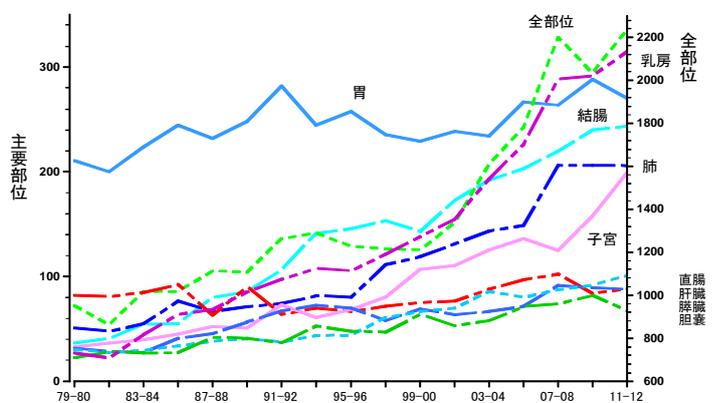


図4-1 年齢調整罹患率の年次推移(男)

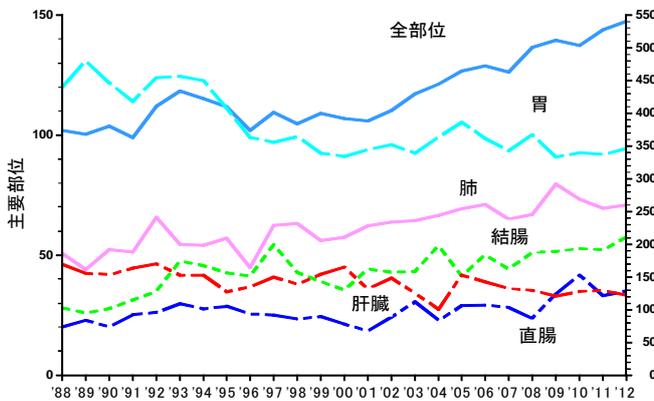


図5-1 年齢調整死亡率の年次推移(男)

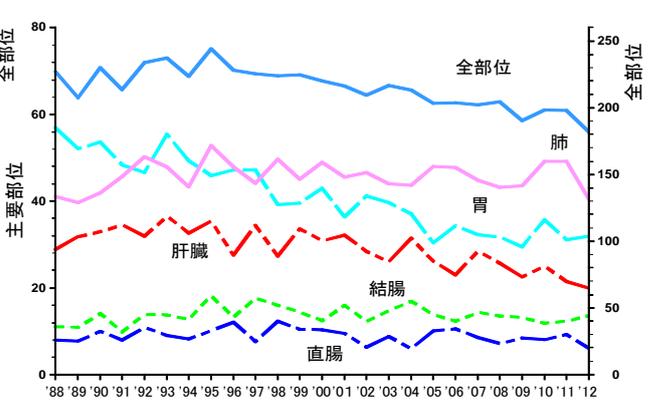


図4-2 年齢調整罹患率の年次推移(女)

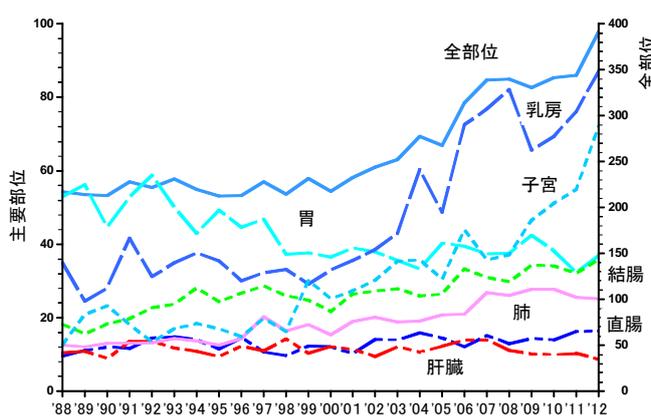
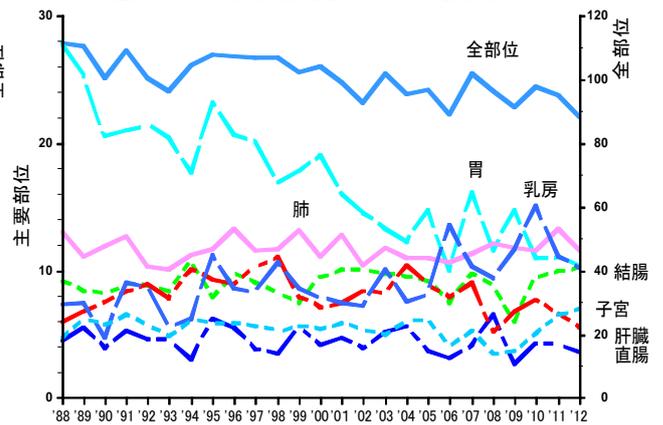


図5-2 年齢調整死亡率の年次推移(女)



d) 年次推移からみた年齢調整罹患率および死亡率の全国比較

左側のグラフはすべて年齢調整罹患率（人口 10 万対）を示し、右側のグラフはすべて年齢調整死亡（人口 10 万対）を示す。

詳細な数値表は、資料 10-1(50 頁)、資料 10-2(51 頁)に掲載する。

図 6-1 年齢調整罹患率-全部位-

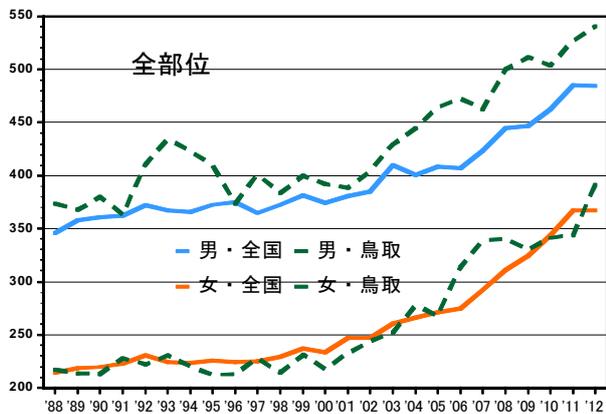
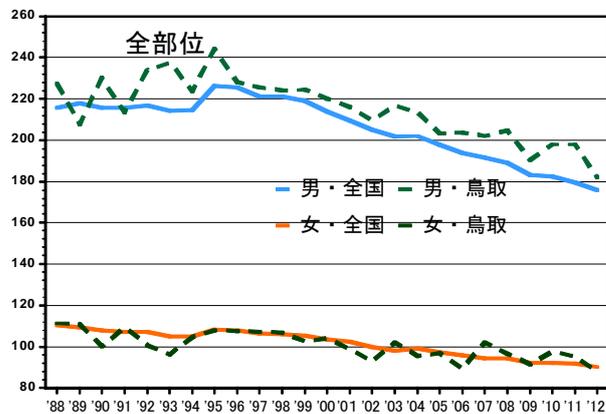


図 7-1 年齢調整死亡率-全部位-



全部位においては、罹患では増加傾向を示すが、死亡では減少傾向が観察される。

図 6-2 年齢調整罹患率-胃-

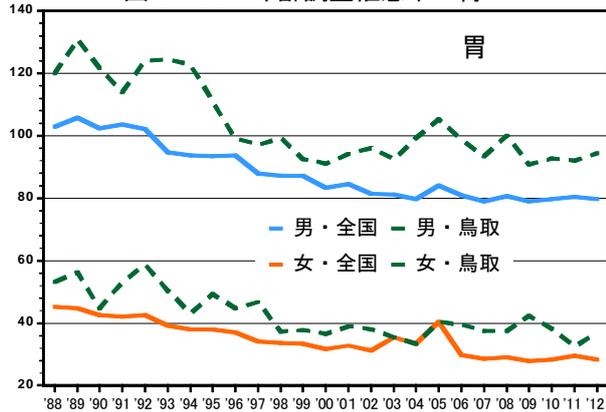
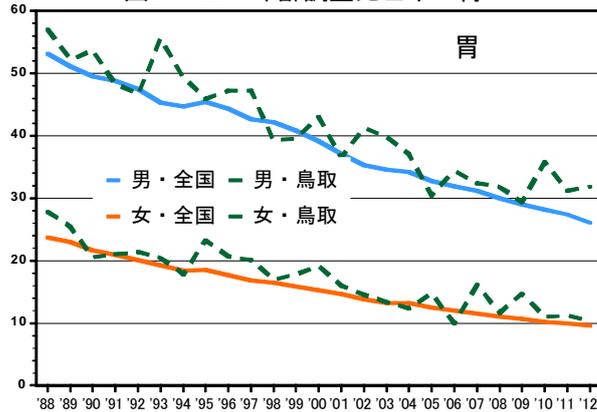


図 7-2 年齢調整死亡率-胃-



胃においては、罹患、で増加傾向が観察される。

図 6-3 年齢調整罹患率-結腸-

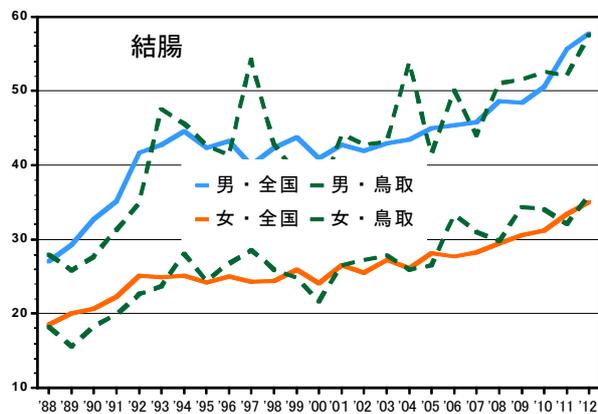
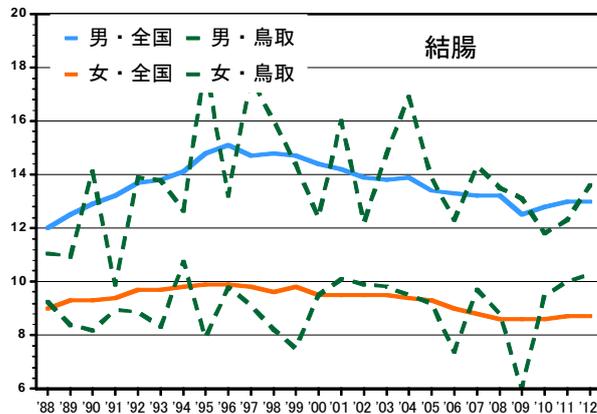
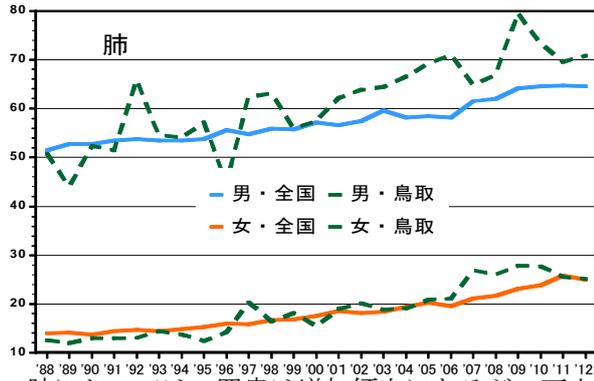


図 7-3 年齢調整死亡率-結腸-



結腸においては、罹患、死亡とも増加傾向が観察される。

図6-4 年齢調整罹患率-肺-



肺においては、罹患は増加傾向にあるが、死亡では減少傾向が観察される。

図7-4 年齢調整死亡率-肺-

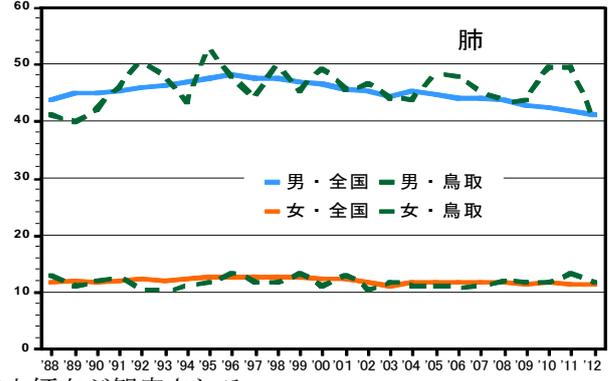
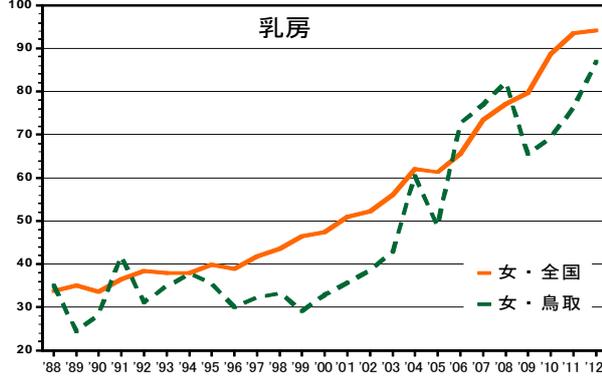


図6-5 年齢調整罹患率-乳房-



乳房においては、罹患は増加傾向にあるが、死亡は減少傾向が観察される。

図7-5 年齢調整死亡率-乳房-

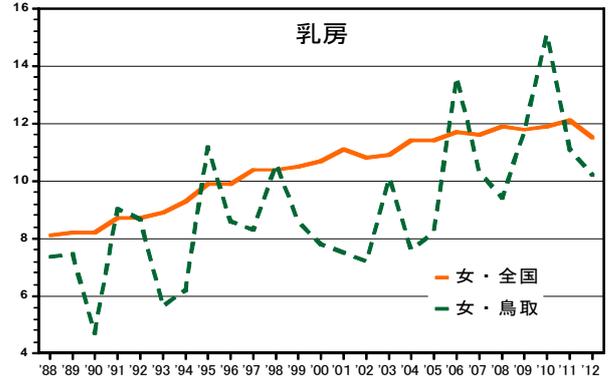
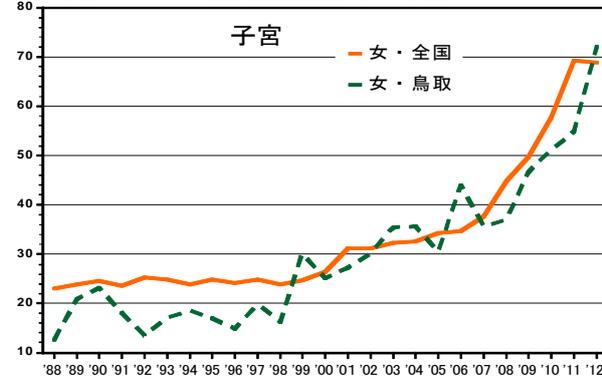


図6-6 年齢調整罹患率-子宮-



子宮においては、罹患は増加傾向が観察される。

図7-6 年齢調整死亡率-子宮-

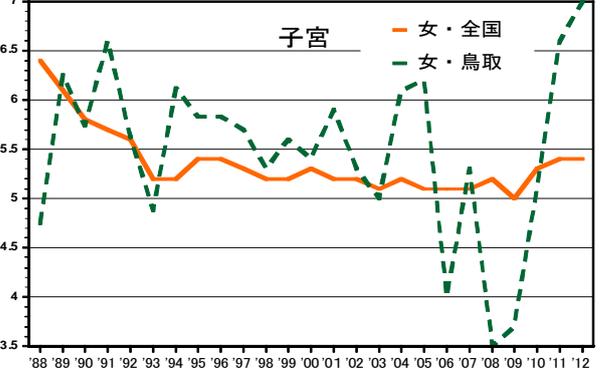
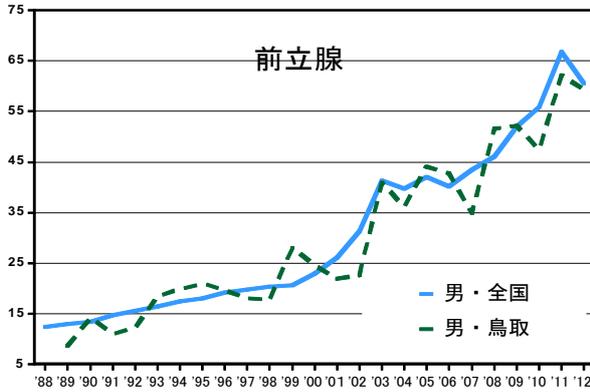
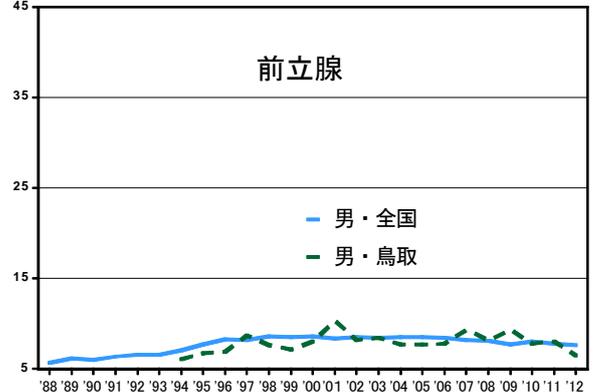


図6-7 年齢調整罹患率-前立腺-



前立腺においては、罹患は減少傾向が顕著であるが、死亡では横ばい状態にある。

図7-7 年齢調整死亡率-前立腺-



#### 4. がん罹患の地域別比較

##### a) 年齢調整罹患率による比較

東部では男女の胃、結腸、直腸、肝臓、肺、男の前立腺、女の子宮、中部では、男女の胃、肝臓、肺、女の乳房、西部では男女の胃、肺、男の肝臓、肺、前立腺、女の結腸、乳房が全国値を上回る高い罹患率を示した。市郡別では、岩美郡の男女の肺、男の肝臓、女の結腸、子宮、八頭郡の男の結腸、前立腺が高い罹患率を示した（図8-1～図8-8）。

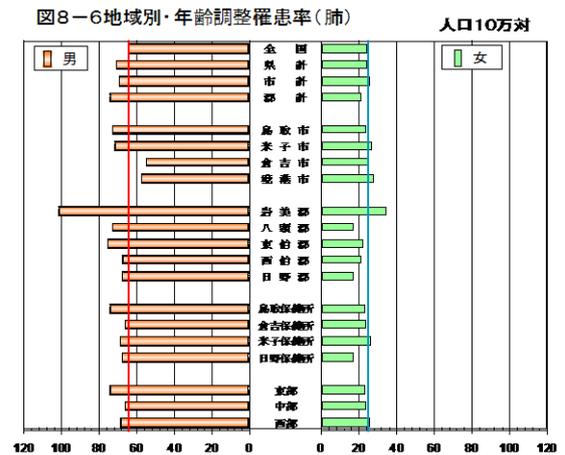
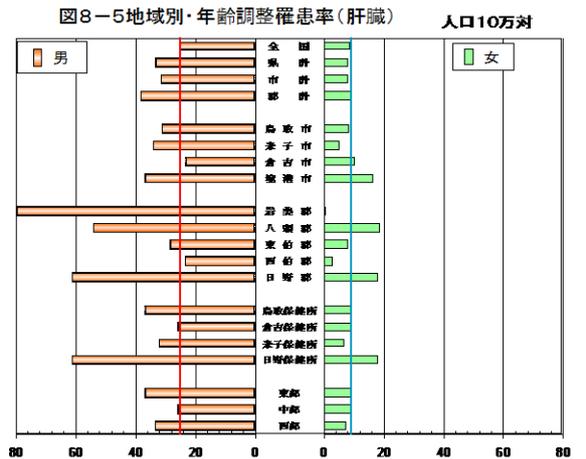
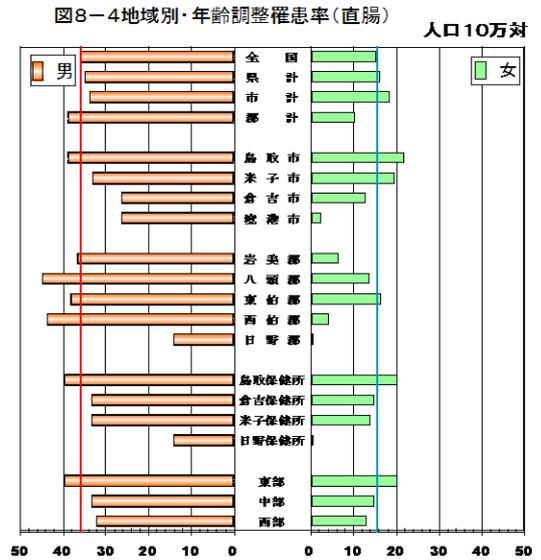
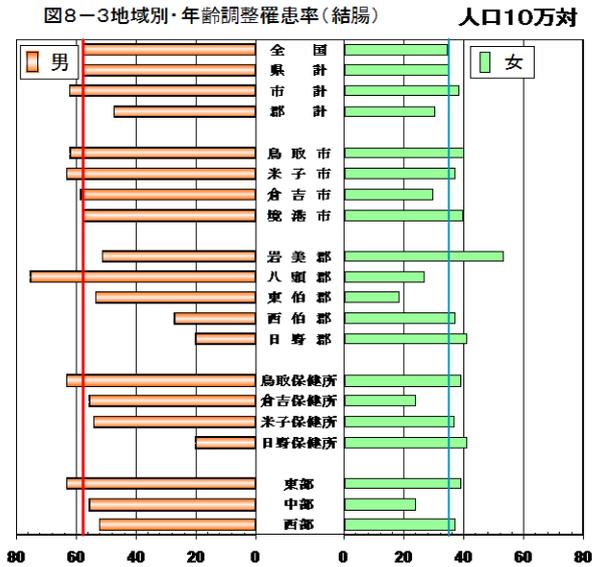
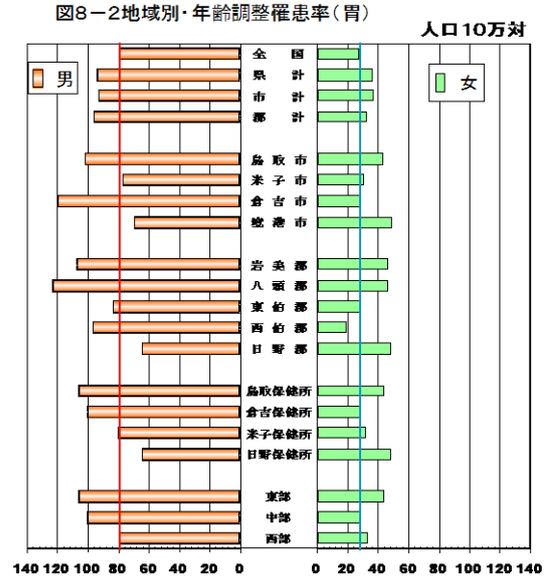
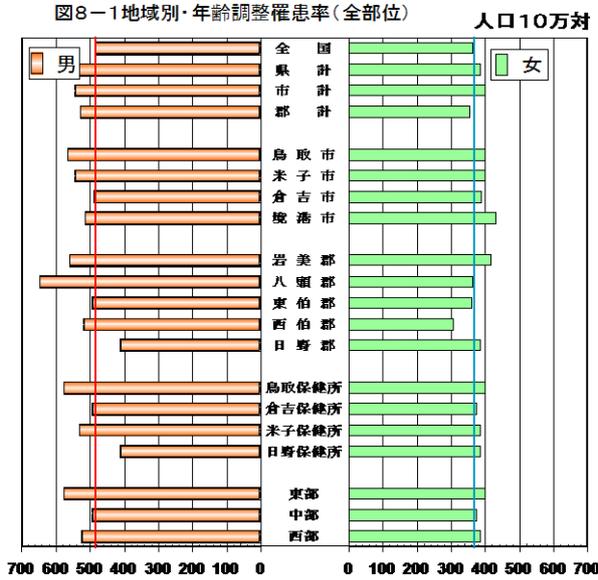


図8-7地域別・年齢調整罹患率(前立腺) 人口10万対

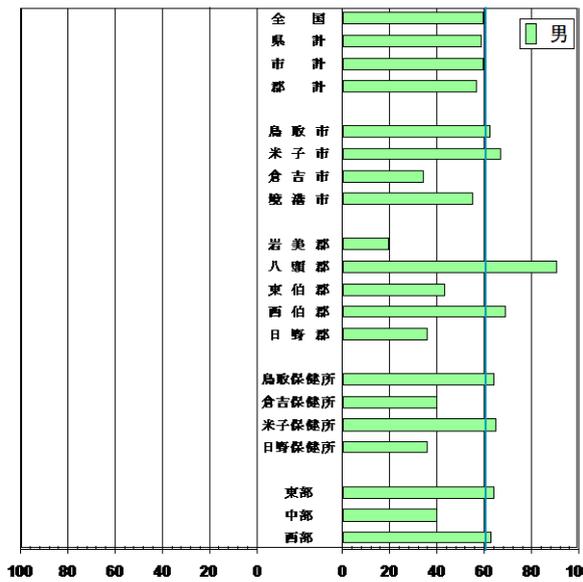
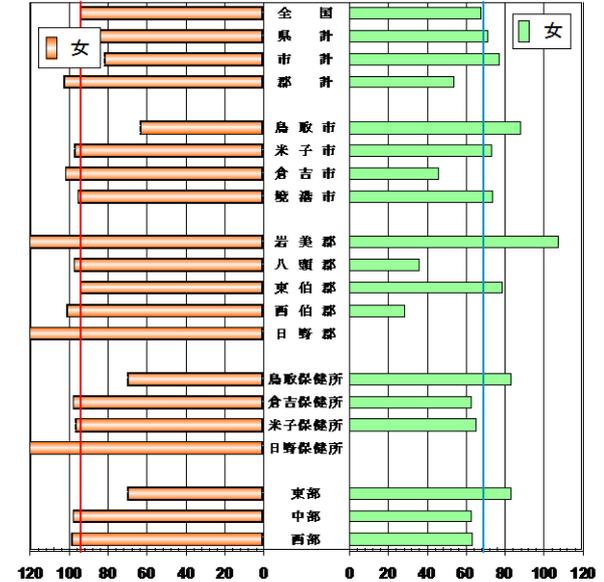


図8-8地域別・年齢調整罹患率(乳房・子宮) 人口10万対



b) 標準化罹患率および標準化死亡比 (全国=100) による比較

東部では男女の胃、男の肝臓、女の直腸、中部では男の胃、女の肺、西部では男の肝臓、女の胃が高い罹患率を示した。しかし東部では女の乳房が 69.8、中部の女の結腸が 69.9 と低い罹患率を示した (表 2)。

市郡別には、鳥取市の女の胃が 149.8、直腸が 138.8、米子市の男の肝臓が 147.6、倉吉市の男の胃が 135.6、女の肺が 132.2、境港市の男女の肝臓が 141.2、184.8、女の胃が 176.1、子宮が 134.5、岩美郡の男の肝臓が 214.4、肺が 133.5、八頭郡の男女の胃が 150.4、158.0、肝臓が 179.4、176.8、男の前立腺が 146.6、東伯郡の女の肺が 123.2、子宮が 124.0、西伯郡の男の胃が 127.6、日野郡の男女の肝臓が 181.3、167.0、女の胃が 145.7 と高い罹患率を示した。

標準化死亡比においては鳥取市の男の肝臓が 130.1、米子市の男の結腸が 155.4、倉吉市の女の肝臓が 153.9、境港市の女の子宮が 213.2、岩美郡の男の結腸が、259.6、八頭郡の男の胃が 149.2、東伯郡の女の直腸が 203.5、西伯郡の男の前立腺が 124.9、日野郡の男の肺が 120.5 と高い死亡比を示した。統計的に有意なものは胃では男女の東部、結腸では女の中部、肝臓では男の東部、西部、乳房では女の東部において有意水準 5% で有意となった (表 2, 3, 4)。

表2 鳥取県における地域別標準化罹患率 (SIR) の比較 全国=100

		全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
男	東部	115.8	124.5	113.9	112.9	131.4	103.1	—	—
	中部	102.8	121.6	101.2	89.2	111.1	105.1	—	—
	西部	109.7	105.7	93.6	88.3	138.6	100.6	—	—
女	東部	106.1	147.4	109.3	127.4	112.0	90.6	69.8	110.8
	中部	100.3	93.0	69.9	94.4	99.7	127.4	92.7	107.0
	西部	106.9	113.8	95.8	86.2	98.5	108.0	103.3	97.9

(黄色の塗りつぶしは、5%の有意水準で有意であることを示す)

表3 平成24年・地域別標準化罹患比（全国値＝100）

	全部位		胃		結腸		直腸		肝臓		肺		前立腺	乳房	子宮
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女
県計	110.7	105.3	116.2	122.5	103.1	95.8	98.2	103.8	130.3	103.9	102.5	105.2	100.4	88.0	104.8
市計	112.2	109.7	113.3	126.6	111.9	107.3	98.6	116.9	126.9	103.8	101.6	107.6	101.6	86.3	112.9
郡計	107.4	95.1	122.7	113.7	83.0	70.5	97.1	74.3	137.9	104.2	104.4	99.9	97.6	92.3	81.7
鳥取市	113.9	107.7	119.5	149.8	110.7	111.8	111.5	138.8	115.8	104.2	103.2	90.1	107.4	66.5	119.4
米子市	114.8	109.8	99.7	102.1	116.8	102.8	98.9	121.4	147.6	83.5	105.3	114.6	111.1	105.7	107.7
倉吉市	99.1	102.8	135.6	81.3	114.4	98.0	69.5	96.7	102.1	101.8	93.8	132.2	58.7	91.1	88.2
境港市	113.2	130.7	100.0	176.1	96.0	116.8	74.3	16.7	141.2	184.8	90.9	130.8	101.1	104.5	134.5
岩美郡	116.8	95.0	125.1	91.3	125.7	93.7	98.3	82.9	214.4	48.0	133.5	105.4	36.2	90.9	116.1
八頭郡	125.5	102.3	150.4	158.0	125.9	103.0	126.3	85.3	179.4	176.8	90.6	86.7	146.6	80.4	49.6
東伯郡	106.0	98.2	109.8	103.0	90.1	45.7	105.8	92.5	118.7	98.0	114.7	123.2	80.7	94.1	124.0
西伯郡	100.6	83.1	127.6	91.1	44.6	64.8	85.6	57.4	97.4	53.2	99.8	87.2	114.2	95.2	58.8
日野郡	90.1	104.5	99.5	145.7	52.7	91.9	39.2	31.6	181.3	167.0	86.8	76.9	61.8	102.2	0.0
鳥取保健所	115.8	106.1	124.5	147.4	113.9	109.3	112.9	127.4	131.4	112.0	103.1	90.6	109.1	69.8	110.8
倉吉保健所	102.8	100.3	121.6	93.0	101.2	69.9	89.2	94.4	111.1	99.7	105.1	127.4	70.7	92.7	107.0
米子保健所	111.3	107.1	106.2	111.0	96.9	96.2	92.0	90.7	135.0	92.0	101.7	110.7	110.2	103.4	102.7
日野保健所	90.1	104.5	99.5	145.7	52.7	91.9	39.2	31.6	181.3	167.0	86.8	76.9	61.8	102.2	0.0
東部	115.8	106.1	124.5	147.4	113.9	109.3	112.9	127.4	131.4	112.0	103.1	90.6	109.1	69.8	110.8
中部	102.8	100.3	121.6	93.0	101.2	69.9	89.2	94.4	111.1	99.7	105.1	127.4	70.7	92.7	107.0
西部	109.7	106.9	105.7	113.8	93.6	95.8	88.3	86.2	138.6	98.5	100.6	108.0	106.5	103.3	97.9

表4 平成24年・地域別標準化死亡比（全国値＝100）

	全部位		胃		結腸		直腸		肝臓		肺		前立腺	乳房	子宮
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女
県計	102.8	94.0	120.1	100.0	108.1	94.4	80.2	85.8	118.8	103.9	98.2	107.2	93.4	80.2	112.1
鳥取市	102.5	92.9	126.2	81.6	92.2	88.5	68.6	53.0	130.1	104.4	90.4	104.8	83.2	99.3	100.8
米子市	111.1	100.3	122.8	106.7	155.4	101.9	82.5	83.0	129.7	108.0	105.2	106.3	111.6	110.0	131.6
倉吉市	102.3	91.1	124.8	137.0	78.7	76.3	139.1	100.9	119.1	153.9	110.7	81.8	86.0	33.7	135.4
境港市	119.2	135.2	132.8	126.3	143.7	187.9	140.9	167.3	165.4	57.1	95.8	182.2	113.7	157.1	213.2
岩美郡	120.0	62.3	77.6	39.9	259.6	41.2	-	257.7	84.7	128.1	129.1	103.0	206.1	65.6	-
八頭郡	96.8	87.7	149.2	66.6	79.5	86.0	106.2	-	130.9	105.3	80.6	128.0	51.6	27.3	109.0
東伯郡	97.7	97.4	121.6	109.7	132.6	104.1	77.9	203.5	72.7	131.9	113.9	109.8	87.2	43.7	117.1
西伯郡	79.5	76.0	88.4	121.9	40.8	80.1	48.1	35.5	78.3	53.5	72.1	85.7	124.9	36.4	73.0
日野郡	100.8	71.8	70.8	84.4	-	57.7	-	-	119.5	43.7	120.5	96.3	-	-	-
鳥取保健所	102.6	90.1	126.8	76.5	100.2	84.9	70.2	57.9	127.4	106.0	91.2	108.3	85.6	86.8	95.8
倉吉保健所	99.8	94.5	123.1	122.3	107.9	91.2	105.8	155.8	93.9	142.0	112.4	96.8	86.7	39.1	125.5
米子保健所	104.9	99.8	116.2	113.3	126.2	109.4	83.7	84.4	123.3	86.9	95.8	112.8	115.2	100.9	130.9
日野保健所	100.8	71.8	70.8	84.4	-	57.7	-	-	119.5	43.7	120.5	96.3	-	-	-

5. 年齢階級別がん罹患率

全体的にほとんどの部位において年齢とともに増加傾向が見られるが、乳房は60歳代でピークを示し、80歳代以降は急激に減少した。子宮も40歳代でピークを示し、50歳代にかけて急激に減少し、その後も減少傾向を示した。(図9-1～図9-15)。

乳房と子宮について年齢階級別の罹患構成比を1979-1983年までと2011-2012年までの2つの期間(30年間)に分けて比較すると、乳房では70歳以上の高齢者における罹患割合の増加と39歳未満の減少が顕著であったが、子宮では、39歳未満の若年層においてほぼ5倍弱も増加した。(図10)。

図9-1 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

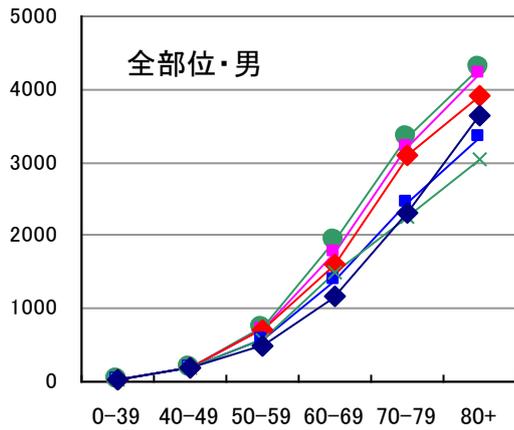


図9-2 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

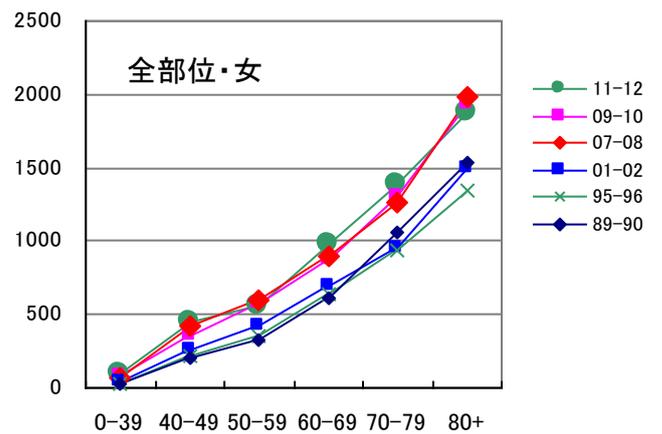


図9-3 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

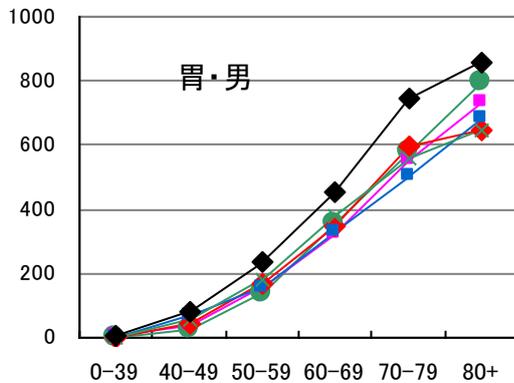


図9-4 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

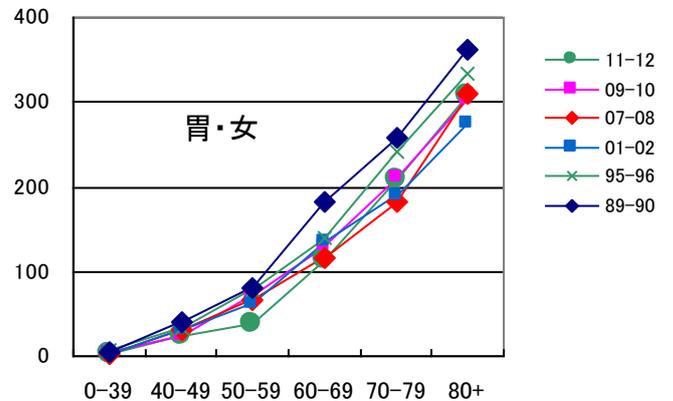


図9-5 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

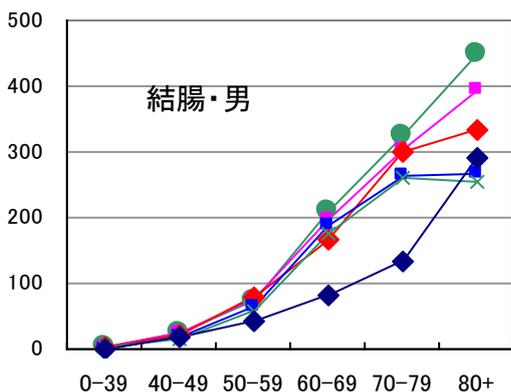


図9-6 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

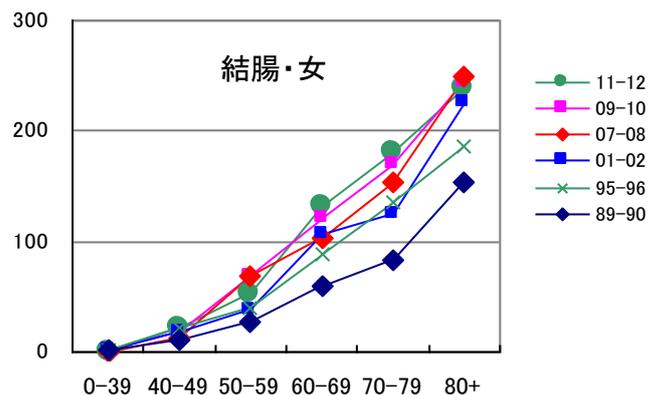


図9-7 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

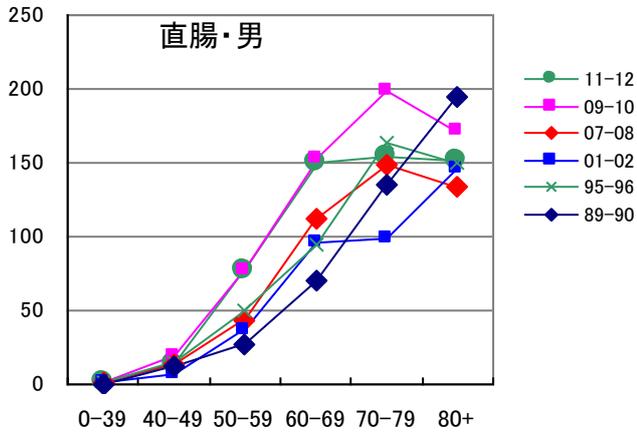


図9-8 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

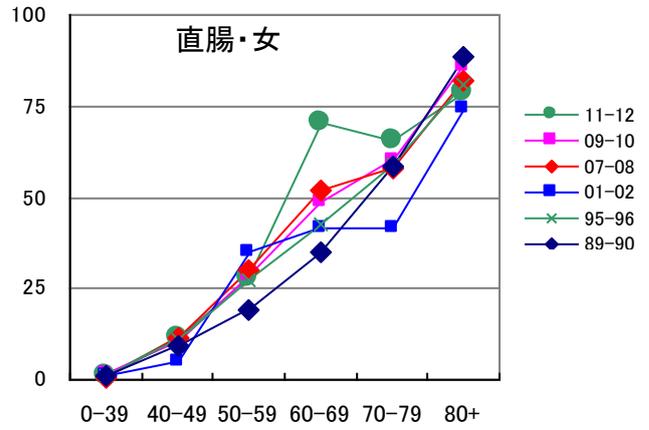


図9-9 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

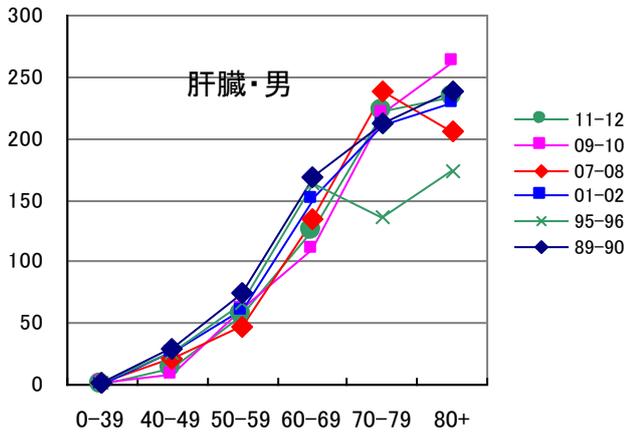


図9-10 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

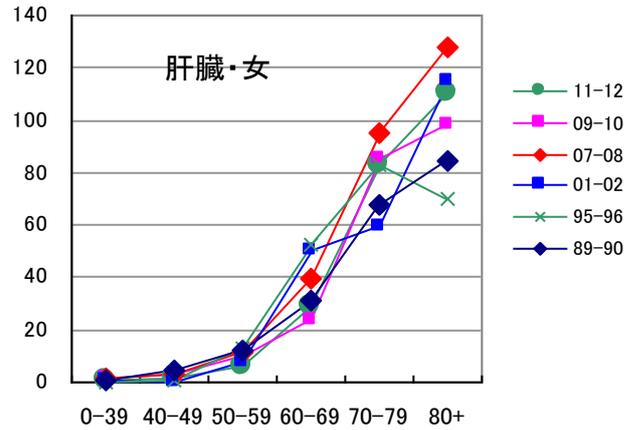


図9-11 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

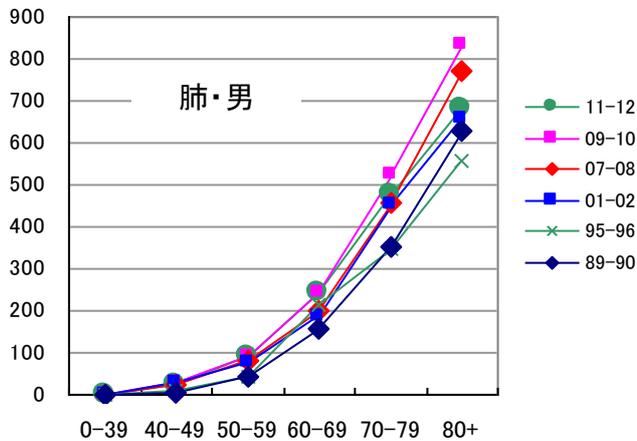


図9-12 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

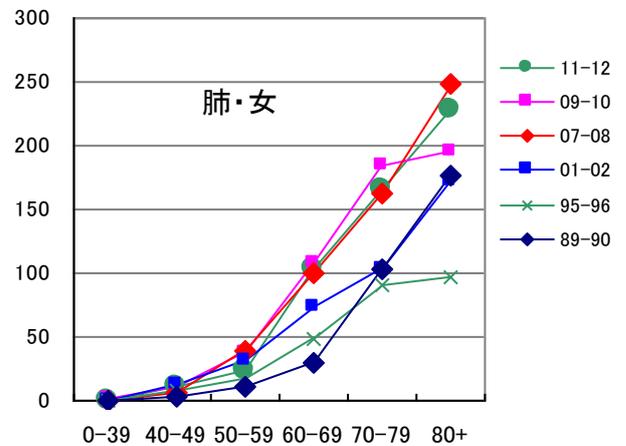


図9-13 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

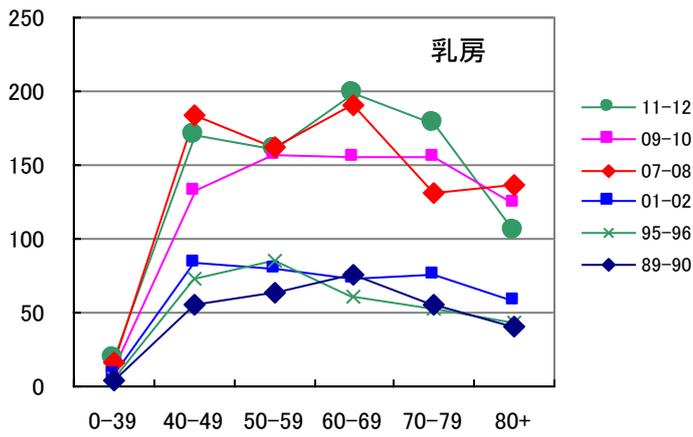


図9-14 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

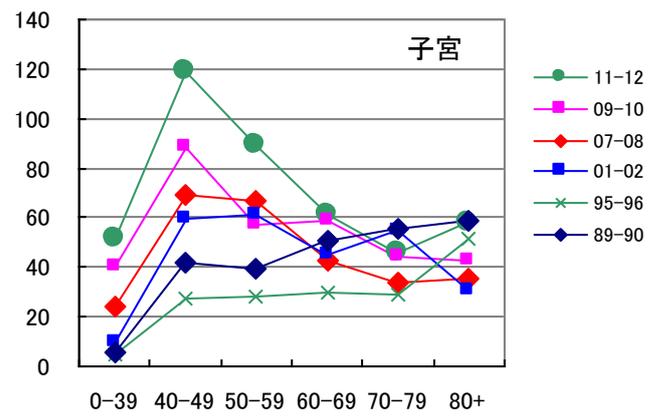
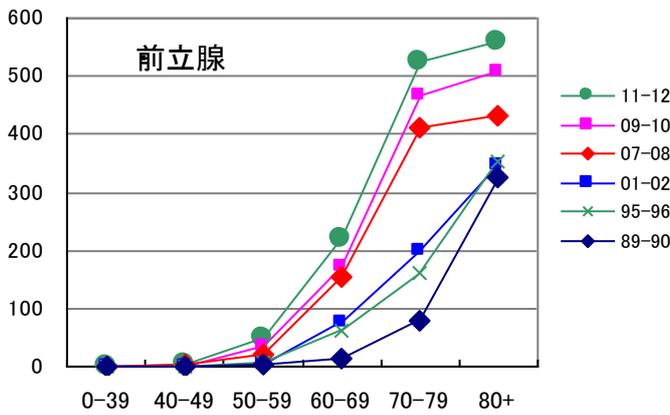


図9-15 年齢10歳階級別がん罹患率の推移



(単位: %)

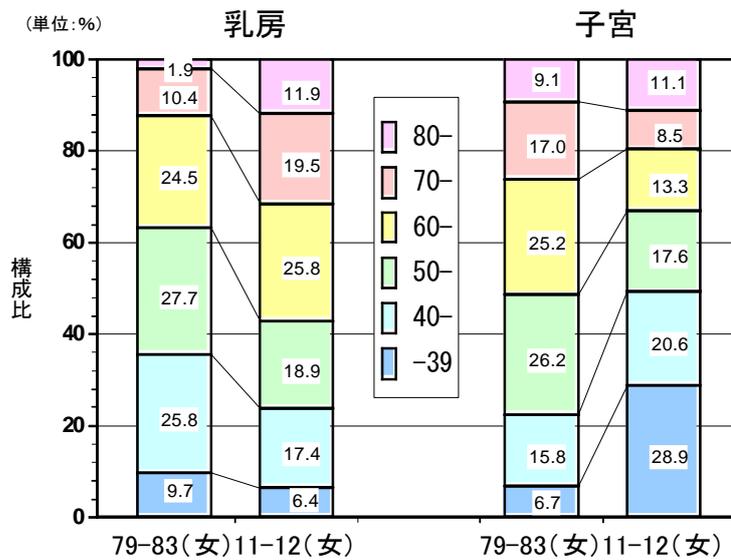


図10 年齢階級別罹患構成比の年次比較

## 6. がんの受療状況

### a) 受療動機別集計

2012年診断日とされた診断票に基づいて受療動機について集計した結果、全部位では有訴受診が最も多く、34.1%、次いで他疾患治療中22.0%、各種がん検診、健康診断（人間ドック等）の順となった。部位別には、有訴受診は乳房が最も高く、健康診断は胃で、各種がん検診は子宮が最も高く23.3%、次いで乳房の順であった。他疾患治療中は肝臓が45.3%で最も高く、次いで肺、全部位の順となった。（表5）。

表5 部位別・受療動機別集計結果（%）

	2012年標準集計対象					
	有訴受診	健康診断	各種がん検診	他疾患治療中	その他	計
全部位	34.1	5.3	8.3	22.0	30.2	100.0
胃	21.9	8.8	11.8	19.8	37.8	100.0
結腸	32.5	5.6	12.4	16.9	32.7	100.0
直腸	34.4	4.1	12.2	14.9	34.4	100.0
肝臓	14.0	1.9	0.9	45.3	37.9	100.0
肺	26.9	6.6	6.5	24.7	35.3	100.0
乳房	55.7	3.4	18.8	9.7	12.4	100.0
子宮	36.9	1.9	23.3	8.3	29.6	100.0

### b) 受療集計

治療方法では全国に比べて鳥取県の手術実施割合は高い。部位別にみて全国に比べ鳥取県が高い部位は、以下の通りであった（表6）。

- (1) 手術割合：全部位、胃、結腸、肝臓、肺、子宮  
 (2) 放射線治療割合：肝臓、乳房

また、鳥取県における化学療法の実施割合は、高い方から肝臓、肺、全部位、胃、直腸、乳房、結腸、子宮、の順となった。

表6 部位別・治療方法別患者割合（%）

部位	ICD-10	-2012年診断				
		手術		放射線治療		化学療法
		鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県
全部位	C00-C96 D05-D06	61.5	59.1	8.9	9.8	29.7
胃	C16	77.5	71.2	0.3	0.6	22.2
結腸	C18	80.2	78.1	0.3	0.6	19.4
直腸	C19-C20	76.2	81.1	1.7	2.1	22.1
肝臓	C22	38.2	19.2	5.1	2.1	56.6
肺	C33-C34	41.3	33.6	14.7	21.9	44.0
乳房	C50 D05	55.5	87.2	23.5	18.8	21.0
子宮	C53-C55 D06	75.6	68.2	8.9	18.2	15.6

\*全国値は2000年

## 7. がん患者の医療機関からの届出状況

平成27年のがん患者診断票届出総数は7,104件で前年に比較し279件の増加であった。地域別では東部で2,664件、中部で830件、西部で3,610件で、前年に比して東部・西部は増加であった（表7）。詳細は、38～39頁（資料3-1～資料3-3）を参照して戴きたい。

表7 主要医療機関、地域別届出件数の年次推移（1992年～2015年）

	1992	1997	2002	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
拠点病院	1,213	1,289	1,397	3,126	2,943	3,428	3,999	4,127	4,134	4,449	4,395	4,912
準拠点病院	645	586	704	1,063	1,146	876	1,399	765	1,686	2,117	1,889	1,751
その他病院・診療所	660	529	427	577	604	507	644	652	763	633	541	441
東部	1,023	927	1,104	2,022	2,146	1,965	2,236	1,982	2,596	2,872	2,524	2,664
中部	417	451	523	486	848	849	986	942	1,097	1,024	985	830
西部	1,078	1,020	896	2,258	1,699	1,997	2,820	2,620	2,890	3,303	3,316	3,610
県全体	2,518	2,404	2,528	4,766	4,693	4,811	6,042	5,544	6,583	7,199	6,825	7,104
HV/I (%)												
鳥取県	53.7	47.5	57.9	71.6	74.7	76.2	77.1	78.0	81.4	-	-	-
全国	62.0	66.9	65.4	69.4	72.8	73.7	77.0	77.8	81.4	-	-	-
DCN/I (%)												
鳥取県	24.5	31.9	26.1	14.7	14.3	12.7	10.5	9.6	6.7	-	-	-
全国	23.9	29.6	24.9	26.7	24	22.7	19.5	17.4	16.1	-	-	-
IM比												
鳥取県	1.9	1.8	1.9	2.3	2.2	2.2	2.3	2.2	2.4	-	-	-
全国	1.6	1.6	1.8	2	2	2.2	2.2	2.2	2.3	-	-	-

拠点病院：鳥取県立中央病院、鳥取市立病院、鳥取県立厚生病院、米子医療センター、鳥取大学医学部附属病院  
 準拠点病院：鳥取赤十字病院、鳥取生協病院、野島病院、山陰労災病院、博愛病院

表8 鳥取県および全国における登録精度の年次推移

	DCN/I(%)		I/M比		HV/I(%)	
	鳥取県	全国*1	鳥取県	全国*1	鳥取県	全国*1
1983	31.7	33.0	1.5	1.4	35.4	48.8
1984	36.7	36.9	1.6	1.5	34.6	48.4
1987	27.9	29.7	1.7	1.5	52.5	53.7
1989	21.5	29.8	1.8	1.5	56.1	54.1
1990	28.0	23.7	1.8	1.6	47.8	61.1
1992	24.5	23.9	1.9	1.6	53.7	62.0
1995	28.2	24.2	1.7	1.6	47.6	63.0
1996	24.8	30.3	1.7	1.6	48.6	66.0
1997	31.9	29.6	1.8	1.6	47.5	66.9
1998	36.5	28.2	1.7	1.7	46.3	66.9
1999	36.2	27.6	1.8	1.7	48.3	67.9
2000	36.3	26.8	1.8	1.7	51.0	67.9
2001	32.9	27.3	1.8	1.7	54.7	66.7
2002	26.1	27.9	1.9	1.8	57.9	62.2
2003	28.3	34.5	1.9	1.7	59.2	61.8
2004	24.0	32.4	2.0	1.7	61.8	64.3
2005	19.0	32.3	2.2	1.7	65.5	65.1
2006	18.1	30.1	2.3	1.8	66.7	64.9
2007	14.7	26.7	2.3	2.0	71.6	69.4
2008	14.3	24.0	2.2	2.0	74.7	72.8
2009	12.7	22.7	2.2	2.2	76.2	73.7
2010	10.5	19.5	2.3	2.2	77.1	77.0
2011	9.6	17.4	2.2	2.2	78.0	77.8
2012	6.7	16.1	2.4	2.3	81.4	81.4

\*1: 年度により採用府県市の件数が変動  
 I/M比: 罹患数の死亡数に対する比  
 HV/I(%): 罹患患者中の組織診実施割合

8. 鳥取県における登録精度

a) がん登録精度の年次推移からみた全国との比較

届出精度としての DCN と診断精度としての罹患数における組織診実施割合 (HV/I) の2つの指標について年次推移を示す。

HV/Iは平成2年以降全国値を下回っているが、平成17年以降は全国値を上回った。

DCNは、過去全国平均より低値で良好であったが、1997年から5年間は届出件数の減少によりDCNは全国平均を上回って高値となり登録精度の低下傾向が見られた。しかし、届出勧奨により2012年の標準集計では前年より約2.9%減少の6.7%となり、改善傾向がみられた(表8)。

なお、DCNは死亡票ではじめて登録される患者数の割合(%)を示す。地域がん登録協議会では、DCNは30%未満、I/D比は1.5以上の登録精度を要求している。

表9 鳥取県における部位別登録精度の年次推移

男性	1979	1984	1990	1996	2012	女性	1979	1984	1990	1996	2012
全部位	36.8	35.8	30.4	25.0	6.2	全部位	35.3	34.4	24.8	24.5	7.3
食道	57.1	34.3	27.8	18.0	1.6	食道	33.3	62.5	25.0	40.0	0.0
胃	31.6	35.2	18.5	14.1	4.6	胃	37.3	35.6	18.2	18.0	5.5
結腸	23.3	16.7	22.0	12.9	5.3	結腸	24.2	39.6	23.2	12.0	8.3
直腸	28.6	32.7	14.9	23.1	5.2	直腸	31.6	20.7	10.2	11.5	2.9
肝臓	55.6	24.6	42.6	28.6	9.8	肝臓	61.8	45.5	37.3	34.2	11.5
胆嚢・胆管	71.4	47.0	45.7	42.6	16.9	胆嚢・胆管	65.2	41.9	39.6	60.0	18.2
膵臓	65.5	58.8	36.1	29.6	8.7	膵臓	57.6	60.0	40.0	40.5	18.0
肺	43.2	41.3	40.9	48.2	9.4	肺	51.1	49.2	42.1	37.0	14.6
前立腺	38.1	45.5	45.3	15.1	5.3	乳房	18.2	16.1	9.7	9.3	1.7
膀胱	22.7	28.1	24.4	13.0	3.1	子宮	32.9	16.9	15.6	25.4	2.3
腎臓	45.5	54.5	61.9	20.0	6.3	卵巣	47.1	34.6	25.0	50.0	7.3
甲状腺	20.0	0.0	0.0	14.3	0.0	膀胱	14.3	29.4	28.6	23.1	2.3
リンパ組織	44.4	28.6	53.7	61.2	3.8	リンパ組織	25.0	33.3	52.0	42.9	8.6
造血組織	41.2	0.0	76.2	53.8	21.0	造血組織	47.1	0.0	40.0	70.0	22.0
						腎臓	25.0	16.7	53.3	36.4	8.0
						甲状腺	0.0	15.4	10.5	3.0	0.0

(黄色は30%以上)

b) 部位別にみたDCNの比較

鳥取県における部位別DCNの年次推移を見ると、顕著なDCNの低下が見られ、男女とも20%を割って、10%代からヒト桁台となる数値が示されて、登録精度の向上が観察された。とりわけ、男女の食道、甲状腺、が低値を示した(表9)。

c) 地域別にみたDCNの比較

平成24年の地域別・部位別DCNにおいて、県全体では肺が最も高く11.2%、次いで肝臓が10.4%であった。この傾向は、市計、郡計でも同様であった。(表10)。

表10 平成24年 地域別・部位別DCN (%)

市町村	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
県計	6.7	4.9	6.7	4.3	10.4	11.2	1.7	2.3
市計	6.3	5.5	6.5	4.9	9.9	10.2	2.0	1.7
郡計	7.7	3.6	7.3	2.7	11.4	13.4	1.0	4.5
鳥取保健所	4.6	3.2	5.6	3.1	7.4	8.6	1.8	0.0
倉吉保健所	9.8	6.7	8.1	8.0	12.5	16.0	1.4	7.3
米子保健所	7.1	5.8	7.1	4.1	11.9	10.0	1.9	2.4
日野保健所	10.6	8.0	7.7	0.0	15.4	25.0	0.0	0.0
東部	4.6	3.2	5.6	3.1	7.4	8.6	1.8	0.0
中部	9.8	6.7	8.1	8.0	12.5	16.0	1.4	7.3
西部	7.3	6.0	7.2	4.0	12.3	11.0	1.8	2.4

d) 臨床進行度分布 (%)

2002年診断では、不明が22%あったが、2006年以降ヒトケタ台に減少し2012年には6%にまで低下した。進行度別には、全体的に限局の割合が増加、とくに胃では28%から62%台に倍増し、逆に領域が減少、遠隔転移の割合に増加傾向が認められた。

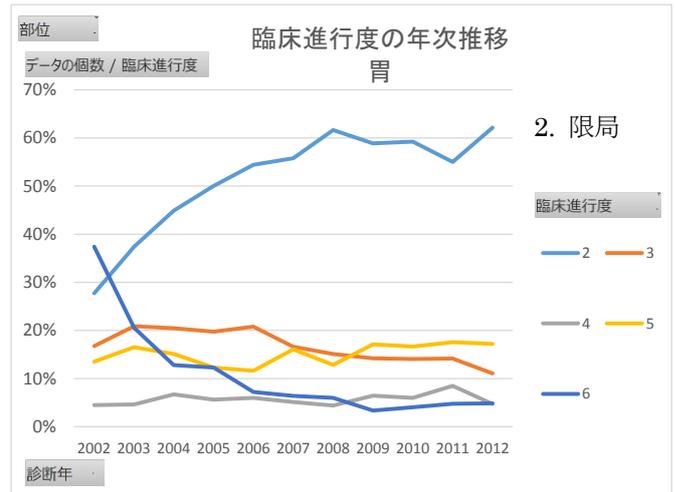


表11-1 臨床進行度分布(%): 部位別(上皮内がんを除く) 2012年診断

	集計対象数	2. 限局	3. 所属リンパ節転移	4. 隣接臓器浸潤	5. 遠隔転移	6. 不明
口腔・咽頭	155	49.5%	12.9%	33.3%	0.0%	4.3%
食道	140	38.0%	11.6%	28.1%	14.9%	7.4%
胃	744	62.1%	11.1%	4.7%	17.2%	4.9%
大腸(結腸・直腸)	658	47.1%	18.7%	8.4%	19.3%	6.5%
結腸	526	46.2%	18.9%	9.1%	18.9%	6.8%
直腸	267	48.9%	18.3%	6.8%	20.1%	5.9%
肝臓	235	67.2%	3.0%	10.2%	13.2%	6.4%
胆嚢・胆管	111	31.5%	7.2%	31.5%	21.6%	8.1%
膵臓	175	12.2%	3.5%	30.8%	46.5%	7.0%
喉頭	35	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
肺	528	38.9%	10.4%	9.7%	37.8%	3.2%
骨・軟部	16	50.0%	0.0%	37.5%	12.5%	0.0%
皮膚	121	92.5%	1.1%	6.5%	0.0%	0.0%
乳房	324	63.7%	20.9%	5.8%	4.2%	5.5%
子宮	124	58.9%	4.8%	21.8%	8.9%	5.6%
卵巣	51	17.6%	0.0%	56.9%	21.6%	3.9%
前立腺	335	61.0%	2.1%	17.1%	12.3%	7.5%
腎など	119	60.2%	4.2%	11.9%	15.3%	8.5%
膀胱	166	71.0%	1.4%	12.3%	4.3%	10.9%
脳など	99	86.9%	0.0%	7.1%	1.0%	5.1%
甲状腺	80	46.3%	28.8%	13.8%	6.3%	5.0%

表11-2 臨床進行度分布(%): 部位別(上皮内がんを含む) 2012年診断

	集計対象数	1. 上皮内がん	2. 限局	3. 所属リンパ節転移	4. 隣接臓器浸潤	5. 遠隔転移	6. 不明
食道	140	13.6%	32.9%	10.0%	24.3%	12.9%	6.4%
大腸(結腸・直腸)	793	17.0%	39.1%	15.5%	6.9%	16.0%	5.4%
結腸	526	16.5%	38.6%	15.8%	7.6%	15.8%	5.7%
直腸	267	18.0%	40.1%	15.0%	5.6%	16.5%	4.9%
肺	528	0.2%	38.8%	10.4%	9.7%	37.7%	3.2%
皮膚	121	23.1%	71.1%	0.8%	5.0%	0.0%	0.0%
乳房	324	4.0%	61.1%	20.1%	5.6%	4.0%	5.2%
子宮	170	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
膀胱	166	16.9%	59.0%	1.2%	10.2%	3.6%	9.0%

# テーマ：「全国がん登録の保健・医療への貢献」

## 地域がん登録全国協議会第25回学術集会

鳥取県健康対策協議会がん登録対策専門委員会 尾崎米厚

2016年1月より「がん登録等の推進に関する法律」が施行され、初めての全国協議会学術集会が2016年6月2、3日金沢市で開催された。

全国がん登録は、開始されたばかりで、その全国で標準化された情報を蓄積し、活用するにはまだ数年は必要ではあるが、早くも利活用を見据えた内容となった。

6月2日に開催されたがん登録担当者研修会では、「全国がん登録における情報の利用と提供」というテーマでシンポジウムが行われた。「世界のがん登録情報公表の現状」では、国際がん登録協議会（IARC）やヨーロッパがん登録ネットワーク（ENCR）など国際機関によりがん登録情報の公開の内容やがん登録先進国の事例紹介がなされ、がん登録のデータが視覚的にもわかりやすく公表されている実態を知ることができた。各州の情報も詳しく示されている米国がん登録の例や英国の例、さらにはがんのみならず様々な主要な疾患の登録事業を実施し公開しているシンガポールの事例も紹介された。がん登録の歴史が比較的浅いドイツやイタリアの例もそれぞれの特徴を生かしたものであった。欧州では、がん患者の生存率疫学研究プロジェクトなど共同研究の成果がすでに公開されている。わが国のがん登録は後発ながら、標準化されたプロセスから標準化されたデータが収集される見込みとなっており、今後の公表のあり方が期待される。今後の「全国がん登録に基づく統計情報公表の計画」では、国がん都道府県データベース利用県では、2015年以降の死亡は国がんが照合・集約を行うが、県は医療機関からの罹患情報の受け付け、入力、県内照合は今後も実施し、死亡情報との照合後の遡り調査は実施する必要がある。2016年秋は2013年診断症例の遡り

調査が依頼される予定である。「がん登録推進法における情報利用と提供」では、がん登録情報を十分に活用して成果を国民に還元するための条件と手順について説明された。研究目的の情報活用には、研究ががん医療の質の向上につながるもので、匿名化されていない情報提供については原則調査対象者本人の同意が必要となる。研究の妥当性、研究者の適切性は国がんで審査され、研究目的と個人情報管理措置の適切性は各県の審議会でも審査されることになる。「全国がん登録システムによる情報利用及び提供の実際」では、病院、市町村、県、研究者に提供する場合の情報提供のための手順と方法について説明された。病院での罹患報告患者の生存確認や死亡者情報、市町村別の情報、都道府県ごとの情報等である。最後に、活用事例として、青森県の事例が紹介された。がんの年齢調整死亡率が全国で最も高い県において、医療圏ごとに診断時の病期（初診病院）、初診病院、治療病院を分析することにより、一部の地域で医療を受けるため長距離移動を余儀なくされているが、生存率については医療機関までの距離が遠いことより進行度が重要で、早期発見早期治療の重要性が示された。これらを医療機関や専門医の配置の参考にするという報告であった。

6月3日の学術集会では、学会長の西野善一先生（金沢医科大学医学部公衆衛生学）ががん登録の歴史と全国がん登録の意義を説明された。招待講演では、金沢大学附属病院麻酔科蘇生科の山田圭輔先生が「がん哲学外来とは何か」と題して、がん患者の診療における患者の死を意識した患者の心の苦痛に寄り添う方法として、哲学的な考えを取り入れ、人が生きるということの価値を、心身と精神を行き来する自己超越と自己距離化によ

り、患者と共に見出せるような取り組みについて報告され、この方法が欧州から来たものだが東洋的思想に似ていることを示された。疫学統計的な演題が多い本学術集会においては異なる見地からの報告でありとても興味深く拝聴させていただいた。ランチョンセミナーでは、「がん検診受診率を上げる！ 行動変容マーケティングの科学的アプローチによる先進事例」と題して株式会社キャンサーズキャンの福吉潤先生により、マーケティングの手法と無作為化比較試験による検証を用いて、がん検診受診率を上げる広告手法について紹介された。介入手法の開発には、対象者（特に未受診者）の声を直にインタビュー調査するところから始めることが紹介され、適切な対象に適切なメッセージを送ることの重要性（セグメンテーション）を解説された。ポスター発表では、全国の登録室からの報告を中心に33演題の発表があった。がん登録のデータを詳細に分析し、子宮がんの死亡率が高い要因を分析した佐賀県の事例などが参考になった。

教育講演では、「がん診療連携拠点病院院内がん登録生存率集計をどう生かすか」というテーマで、西本寛先生（国立がん研究センター）が、院内がん登録情報を全国がん登録の生存確認情報を用いて生存率を確認することになると紹介された。患者・家族による活用のためには病院ごとに生存率が公表される必要があるが、院内がん登録の生存率の特性にも配慮した公表と解釈が必要であるという。特に施設ごとの特性への配慮は重要であり生存率だけが独り歩きしても良くない。今後は比較に適した相対生存率だけでなく、実態に即した実測生存率も重要である。今後は、全国値と都道府県値は、対象の属性（年齢、総合病期、観血的治療の有無）、男女別で実測生存率を含む生存率、部位別（胃、大腸、肝、肺、乳房、その他、食道、膵臓、子宮体部、前立腺、膀胱）に分けて、そして5大がんについては施設別生存率を公表する予定だそうである。

最後のシンポジウムでは、「全国がん登録の活

用をいかに進めるか」というテーマで議論が行われた。片野田耕太先生（国立がん研究センター）は、「対策への活用」の中で、たばこ対策への活用、検診の質の向上への活用、医療の評価への活用の可能性について述べられ、研究への活用も含め、より層別化個別化された分析を行的確な対策に結びつける重要性を示された。雑賀公美子先生（国立がん研究センター）は、「がん登録データの健診精度管理への利用」として、がん登録データにより検査の妥当性指標のみならず、精度管理指標（要精検率、精検受診率、偽陽性率、偽陰性率、陽性反応的中度等）などを算出し、対策型がん検診の精度評価に活用できることを示された。読影の結果のフィードバック等精度を上げるための具体的な取り組み方法についての紹介もされた。

大阪府立成人病センターの伊藤ゆり先生は、「生存率の都道府県格差を規定する要因」として、がんの5年生存率の都道府県比較と差が生まれる要因についての解析結果について報告された。性や年齢を調整した都道府県格差の説明には、早期診断の遅れの要因が大きいことが示された。また拠点病院における治療の割合も要因としてあがった。大木いずみ先生（栃木県がんセンター）は、「診療実態の把握」と題して話され、がん診療連携拠点病院（国指定）、がん診療連携拠点指定病院（県指定）、がん治療中核病院（県指定）からの登録が県の地域がん登録に占める割合を分析した結果が報告された。これらを県内の地域差、部位別、年齢、進展度等の観点でも分析し、院内がん登録と地域がん登録のデータを連携させて分析することで診療実態の把握と課題抽出が進むと報告された。濱本満紀先生（NPO法人がんと共に生きる会）は、患者及び支援者の団体として、住民目線で知りたい情報を伝える活動の中でがん登録データの利用が役立っていることを報告された。そして、10年相対生存率や部位別サバイバー生存率（診断後何年間か経過した患者の生存率）など患者が知りたい情報を様々な媒体でわかりや

すく伝えることにつながっており、今後は全国レベルのデータの精度があがり、都道府県のみならず二次医療圏、市町村、施設レベルでのデータ公表が望まれることを期待された。特別発言では松本陽子先生（全国がん患者団体連合会）が、がん登録等の推進に関する法律の成立に向けて、啓発やロビーイングなど努力をされた経過の紹介をされ、国民にいかにかわりやすく望まれる情報を還元できるかが重要であると訴えられた。今後とも、患者や支援団体の方と一緒に、国民目線の情報を提供していく重要性が確認された。

このように、始まったばかりの全国がん登録であるが、患者や国民のための情報を的確に公表し、医療の均てん化をもたらし、がん対策の課題抽出、対策対象者の層別化、対策の評価などのために、利活用を一刻も早く進めるべきであるとの認識に至る内容であり、そのためのルール作り、精度の高いデータづくりなどを益々推進する意義が感じられる学術集会であった。鳥取県においても県民のために関係者のたゆまぬ努力により、全国でも有数の精度のがん登録事業に育てていき、優秀な活用事例が生まれることが望まれる。

# 全国がん登録の開始により、変更された登録方法

## 平成28年度がん登録対策専門委員会

- 日時 平成28年9月1日（木） 午後1時45分～午後2時50分
- 場所 テレビ会議 鳥取県健康会館 鳥取市戎町  
鳥取県中部医師会館 倉吉市旭田町  
鳥取県西部医師会館 米子市久米町
- 出席者 21人  
〈鳥取県健康会館〉  
魚谷健対協会長、尾崎委員長  
池口・明穂・岩垣・大石・岡田・岡本・小坂・瀬川・藤井・村上各委員  
オブザーバー 県健康政策課がん・生活習慣病対策室：米田課長補佐  
蔵内課長補佐  
健対協事務局：谷口事務局長、田中係長  
〈鳥取県中部医師会館〉野田・吉田各委員  
〈鳥取県西部医師会館〉杉谷・角・辻谷各委員

### 【概要】

○平成24年の罹患集計を行った結果、罹患総数5,155件で、人口10万対年齢調整罹患率は、男540.3、女391.3であった。鳥取県における年齢調整罹患率は、男では胃、肺、前立腺、結腸が高く、女では乳房、子宮、胃の順であった。

届出精度としてのDCN（り患数のうち死亡情報で初めて登録された者の割合）は、平成24年（2012年）は6.7%で、昨年の9.6%に比べ2.9ポイント減少。また、組織診断実施割合は81.4%で年々増加傾向にあり、全国値も上回っており、全国でも有数の精度である。この集計結果を取りまとめた「鳥取県がん登録事業報告書」を作成した。

平成27年がん登録届出件数は7,104件で、がん拠点病院を中心に主要病院の登録精度の充実が図られている。

○全国がん登録が開始されるに伴い、過去の

がん登録データを標準化データベースシステム（DBS）への移行作業は平成27年度で終了した。

また、平成28年1月より開始されたがん登録推進法にもとづく『全国がん登録』は、全ての病院と手挙げされた診療所からがん登録データを提出していただくこととなった。

現時点で、本県の登録室に提出があった「全国がん登録」の届出件数は83件で非常に少ない。

県健康政策課より、いまだに①院内がん登録システム（Hos-CanR Plusなど）の利用のシステムは完成されていないので、がん診療連携拠点病院及び準じる病院からは「全国がん登録」の登録データは提出されていない状況であること、②システムがいつ完成するのか不明であること、また、③厚生労働省においては、今年度の予算でデ

ータの送付方法をオンラインによる届出を目指していると聞いているという話があった。

○がん登録データ利活用について、以下の話があった。

県のがん対策の一環として、がん登録で明らかになったデータを活用して、広く県民に伝える方法を検討していくこととなった。

また、施設別の部位別の臨床進行度別生存率の情報公開の提案については、協議した結果、ワーキンググループにて、作成されたデータをもとに、どこまで公表できるのか検討し、がん診療連携拠点病院及び準ずる病院の先生方と協議する場を設ける方向性が示された。また、既に情報公開している県に、公表に向けての合意のプロセスとか、公表後の混乱、問題点等について聞き取りを行うこととなった。

## 挨拶（要旨）

〈魚谷会長〉

皆様には、日頃から健対協事業にご尽力頂き、深謝します。

がん登録事業は、がん対策を行うにあたって、一番基礎をなすデータを集め、重要な委員会であると認識している。

鳥取県は永年にわたり地域がん登録事業を行っており、数年前より全国標準化データベースシステムへの移行が進められている。現在、地域がん登録と全国がん登録を並行して取り組んでおり、鳥取県なりの課題もあるようである。本日は、色々の課題をご審議いただき、鳥取県のがん登録がより充実していくよう、活発なご議論をお願いします。

〈尾崎委員長〉

鳥取県は、県を挙げて、医師会の先生方をは

じめ、関係者皆様のご努力により「地域がん登録」の運用を行っており、近年ではとても高い精度で登録がなされている。一方、平成28年1月から「全国がん登録」がスタートしたが、運用上の色々な問題が発生している。本日の協議で、少しでも良い方向に、迅速により良い精度が安定的に提供できるようにと思うので、ご活発なご議論をお願いします。

## 報告

### 1. 平成27年度がん登録事業報告

1) 鳥取県における平成24年がん罹患・受療状況  
標準集計結果：岡本委員

a) 罹患集計

(1) 罹患数

がんの全部位では罹患総数5,155件（男2,945、女2,210）で、部位別に男では胃>肺>前立腺>結腸>肝臓の順、女では乳房>胃>結腸>子宮の順。

全国（2011年推計値）は、男では胃>前立腺>肺>結腸>直腸の順、女では乳房>子宮>結腸>胃の順。鳥取県の順位は全国の順位と一致しなかった。

罹患割合の年次比較では、男女とも結腸、女では乳房、肺において増加した。

(2) 粗罹患率（表1）

人口10万対885.9（男1061.4、女726.0）であった。

(3) 年齢調整罹患率

人口10万対450.9（男540.3、女391.3）で、男女とも全国推計値（2011年）を上回る値を示した。

部位別では、男では胃が最も高く94.4、次いで肺の70.9、女では乳房が最も高く87.0、次いで子宮の72.1を示した。

(4) 年齢調整罹患率の年次推移（1988-2012年）

前年（2011年）に比べて2012年は、男女の肝臓で減少傾向が見られた。男は結腸、女は胃、乳房、子宮で増加傾向が観察された。

表1 鳥取県における性、主要部位別がん罹患状況—平成24年（2012年）—

男	罹患数	罹患割合	粗罹患率	調整罹患率	全国推定罹患率 <sup>1)</sup>	標準化罹患比 <sup>2)</sup>
全部位	2,945	100.0	1,061.4	540.3	519.7	103.4
食道	127	4.3	45.8	24.1	19.9	120.6
胃	519	17.6	187.1	94.4	80.4	114.8
結腸	319	10.8	115.0	57.6	55.7	107.2
直腸	174	5.9	62.7	35.0	33.4	104.9
肝臓	183	6.2	66.0	33.4	26.1	125.3
胆嚢・胆管	65	2.2	23.4	10.1	10.0	100.8
膵臓	103	3.5	37.1	18.5	15.3	118.9
肺	394	13.4	142.0	70.9	64.7	101.9
前立腺	357	12.1	128.7	59.3	66.8	91.0
膀胱	127	4.3	45.8	21.5	21.9	97.3
悪性リンパ腫	55	1.9	19.8	10.7	13.9	81.1

女	罹患数	罹患割合	粗罹患率	調整罹患率	全国推定罹患率 <sup>1)</sup>	標準化罹患比 <sup>2)</sup>
全部位	2,210	100.0	726.0	391.3	380.3	101.4
食道	17	0.8	5.6	2.6	2.9	86.8
胃	274	12.4	90.0	36.9	29.5	117.8
結腸	252	11.4	82.8	35.9	33.4	99.1
直腸	105	4.8	34.5	16.4	14.4	113.8
肝臓	87	3.9	28.6	8.7	9.0	104.9
胆嚢・胆管	77	3.5	25.3	6.3	6.0	112.6
膵臓	100	4.5	32.8	12.0	10.0	110.1
肺	205	9.3	67.3	25.2	25.9	102.9
乳房	347	15.7	114.0	87.0	93.6	89.2
子宮	219	9.9	71.9	72.1	69.3	103.2
卵巣	55	2.5	18.1	12.0	10.6	120.8
膀胱	44	2.0	14.5	4.9	4.6	104.7
悪性リンパ腫	61	2.8	20.0	9.5	9.2	104.1

1) 全国推定罹患率は平成23年（2011年）-データを使用 2) アミは、5%の有意水準で有意であることを示す

表2 鳥取県における地域別標準化罹患比（SIR）の比較 全国=100

	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
東部	108.2	123.1	118.5	120.8	126.5	102.5	—	—
男 中部	96.1	120.1	105.3	95.3	106.9	104.5	—	—
西部	102.4	104.4	97.4	94.2	133.1	99.9	—	—
東部	102.2	141.6	113.2	139.7	113.2	88.5	70.7	109.2
女 中部	96.6	89.4	72.3	103.5	100.9	124.7	94.1	105.3
西部	103.0	109.4	99.1	94.5	99.3	105.7	104.8	96.4

(アミは、5%の有意水準であることを示す)

(5) 地域別標準化罹患比（全国=100）

東部では男女の胃、男の全部位、女の直腸、乳房、中部では女の結腸、西部では男の肝臓が高い罹患比を示した。

(6) 年齢階級別罹患率

全体的にほとんどの部位において年齢とともに増加傾向が見られるが、乳房は60歳代でピークを示し、それ以降減少傾向を示した。子宮は40歳代でピークを示し、70歳代にかけて減少し、70歳代以

降漸増した（2011年－2012年）。

乳房と子宮について年齢階級別の罹患構成比を1979－1983年までと2011－2012年までの2つの期間に分けて比較すると、乳房では70歳以上の高齢者において罹患割合の増加と39歳未満の減少が顕著であったが、子宮では、39歳未満の若年層において約30年前の4倍強近く増加した。

b) 受診動機別集計（表3）

全部位については、有訴受診の34.1%、次いで他疾患治療中の22.0%、各種がん検診、健康診断（含人間ドック）の順となった。

部位別では、乳房で有訴受診が55.7%、肝臓で他疾患治療中の45.3%が顕著であった。

c) がん患者の医療機関からの届出状況（表4）

平成27年（2015年）の届出総数は、7,104件で

前年より279件の増加であった。拠点病院からの届出が約8割を占めている。地域別では、東部で2,664件、中部で830件、西部で3,610件で、前年に比して東部・西部で増加した。

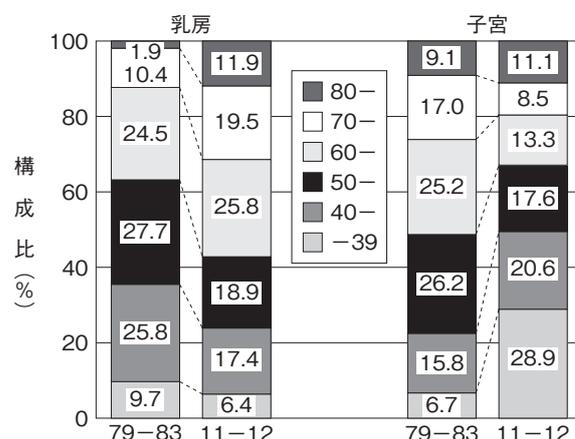


図1 年齢階級別罹患構成比の年次比較

表3 部位別・受診動機別集計結果 (%)

	有訴受診	健康診断	各種がん検診	他疾患治療中	その他	計
全部位	34.1	5.3	8.3	22.0	30.2	100.0
胃	21.9	8.8	11.8	19.8	37.8	100.0
結腸	32.5	5.6	12.4	16.9	32.7	100.0
直腸	34.4	4.1	12.2	14.9	34.4	100.0
肝臓	14.0	1.9	0.9	45.3	37.9	100.0
肺	26.9	6.6	6.5	24.7	35.3	100.0
乳房	55.7	3.4	18.8	9.7	12.4	100.0
子宮	36.9	1.9	23.3	8.3	29.6	100.0

表4 主要医療機関、地域別届出件数の年次推移（1992年－2015年）

	1992	1997	2002	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
拠点病院	1,213	1,289	1,397	3,126	2,943	3,428	3,999	4,127	4,134	4,449	4,395	4,912
準拠点病院	645	586	704	1,063	1,146	876	1,399	765	1,686	2,117	1,889	1,751
その他病院・診療所	660	529	427	577	604	507	644	652	763	633	541	441
東部	1,023	927	1,104	2,022	2,146	1,965	2,236	1,982	2,596	2,872	2,524	2,664
中部	417	451	523	486	848	849	986	942	1,097	1,024	985	830
西部	1,078	1,020	896	2,258	1,699	1,997	2,820	2,620	2,890	3,303	3,316	3,610
県全体	2,518	2,404	2,528	4,766	4,693	4,811	6,042	5,544	6,583	7,199	6,825	7,104
HV / I (%)	鳥取県	53.7	47.5	57.9	71.6	74.7	76.2	77.1	78.0	81.4	—	—
	全国	62.0	66.9	65.4	69.4	72.8	73.7	77.0	77.8	—	—	—
DCN / I (%)	鳥取県	24.5	31.9	26.1	14.7	14.3	12.7	10.5	9.6	6.7	—	—
	全国	23.9	29.6	24.9	26.7	24.0	22.7	19.5	17.4	—	—	—
IM比 (%)	鳥取県	1.9	1.8	1.9	2.3	2.2	2.2	2.3	2.2	2.4	—	—
	全国	1.6	1.6	1.8	2.0	2.0	2.2	2.2	2.2	—	—	—

拠点病院：鳥取県立中央病院、鳥取市立病院、鳥取県立厚生病院、米子医療センター、鳥取大学医学部附属病院  
準拠点病院：鳥取赤十字病院、鳥取生協病院、野島病院、山陰労災病院、博愛病院

#### d) 登録精度

(1) DCN（罹患数のうち死亡情報で初めて登録された者の割合）

登録精度の評価として用いられるDCNの値は、平成24年（2012年）は6.7%となり、昨年より2.9%減少し登録精度の向上が見られた。部位別には、問題となるDCN 25%以上を示す部位は男女とも見られず殆ど一桁台の数値を示した。

(2) I/M比（罹患数の死亡数に対する比）

2.4で全国値2.2（2011年推計値）より高い値を示した。多重がんが平成元年約7%に対し、平成24年には約24%と増えていることが、I/M比の増加に影響していると思われる。

(3) 組織診断実施割合

組織診断実施割合は、81.4%で前年集計値より約3.4%の増加が見られた。この値は全国推計値77.8%（2011年推計値）と比較すると高い値であった。しかし、肝臓は未だ男女とも30%前後の低値を示した。

#### e) 臨床進行度分布（%）

2002年診断では、不明が22%あったが、2006年以降ヒトケタ台に減少し2012年には6%にまで低下した。進行度別には、全体的に限局の割合が増加、とくに胃では28%から62%台に倍増し、逆に領域が減少、遠隔転移の割合に増加傾向が認められた。

上記の報告について、以下の質問があった。

・臨床進行度分布別の生存率の全国集計が公表されているか。

死亡率が低い長野県と比較して、鳥取県の分布はどのような点に違いがあるのか検討されているのかという質問があった

⇒全国集計は行われており、他県との比較は可能であるが、詳細な検討は行っていない。

#### 2) 標準化DBSへの移行と全国がん登録の運用開始にあたっての今後の対応：

米田県健康政策課がん・生活習慣病対策室課長補佐

鳥取県のがん登録は、県の独自の事業として始めていたが、全国で登録の項目や入力の手続きが統一された標準化DBSへの移行が進められ、本県においても、数年前からDBSへの移行に取り組んでおり、昨年度、標準化DBSへの移行が終了した。

併せて、これまでの鳥取県のがん登録データは今年の1月から開始された「全国がん登録」の登録データベースに移管された。

がん登録推進法にもとづく『全国がん登録』がスタートし、全ての病院と手挙げされた診療所からがん登録データを提出していただくこととなった。届け出様式の変更ならびに各医療機関への協力要請については、県が東・中・西部で「全国がん登録」の説明会を開催した。また、安全な提出方法等について、平成28年2月の「鳥取県地域がん登録あり方検討ワーキンググループ」にて協議を行い、その決定事項にもとづき、3月22日付けで、全ての病院と参加される診療所にデータの提出方法についての通知を行った。

その通知によるデータの提出方法等は以下のとおりである。

#### ○データの作成方法

①院内がん登録システム（Hos-CanR Plusなど）の利用

院内がん登録を行っている病院においては、院内がん登録システム（Hos-CanR Plusなど）から全国がん登録用のデータを作成して提出する方法。

②国立がん研究センターが提供するシステム（Hos-CanR Lite）の利用

全国がん登録用の簡易システム（Hos-CanR Lite）によりデータ作成する方法。

③国立がん研究センターが提供するPDFファイルの利用

全国がん登録用のPDFファイルを作成す

る方法。

#### ○鳥取県健康対策協議会への提出方法

上記の3つのいずれかの方法で作成したがん登録の届出データファイルをUSBに保存し、「レターパック」により鳥取県健康対策協議会に提出する。なお、提出用のUSBと「レターパック」については、鳥取県健康対策協議会で準備する。

なお、県健康政策課より、厚生労働省においては、今年度データの送付方法をオンライン化する予算がついているが、現時点でどのような進捗状況なのか不明である。今年度中に完成し、来年度からはオンラインによる届出を目指していると聞いていたと報告があった。

また、いまだに①院内がん登録システム（Hos-CanR Plusなど）の利用のシステムは完成されていないので、がん診療連携拠点病院及び準じる病院からは「全国がん登録」の登録データは提出されていない状況で、システムがいつ完成するのか不明であると話があった。

岡本委員からは、現時点で、本県の登録室に提出があった「全国がん登録」の届出件数は83件で非常に少ないという報告があった。

#### 3) 平成27年（2015年）度鳥取県がん登録事業報告書（平成23年（2011年））集計の印刷・配布：岡本委員

関係協力医療機関やがん登録専門委員の意見・要望等を取り入れて、報告書の編集を行った。

### 協 議

#### 1. 平成28年度事業計画について、岡本委員より以下のとおり説明があった。

##### 1) 平成25年（2013年）がん罹患・受療状況標準集計

平成25年（2013年）における性・年齢階級別における部位別がん罹患数を求め、粗罹患率・年齢

調整がん罹患率を算出する。また、手術・放射線治療および化学療法などの治療方法ならびにX線・内視鏡・組織診などの診断方法の実施割合など受療状況について集計する。

罹患集計の結果は、医師会報、事業報告、ホームページを通して公表する。

#### 2) 登録精度の向上のための届出勧奨、補充届出票による遡り調査、各種検診発見がんからの登録

近年、拠点病院構想の実施により登録精度は著しく改善してきているが、引き続き登録精度の向上をめざして、県内主要病院を対象にした届出勧奨を進める。また、平成25年死亡小票からの補充届出票による遡り調査と各種検診発見がんの未登録分の登録も行う。

#### 3) 全国がん登録の届出の周知徹底・運用状況と情報提供および利活用について

2016年1月より全国がん登録の届出開始。2015年12月31日までの旧様式の地域がん登録データについても併せて従来通りの届出様式での提出を依頼。徹底を図るためのチラシの配布や説明および全国がん登録情報の提供を随時発信すると共に運用状況についても適宜情報提供する。また、ワーキンググループ会議を開催して、届出内容についての問い合わせの方法など随時検討をしていくと共にがん登録データの利活用についても継続検討を行う。

#### 4) 平成28年度鳥取県がん登録報告書の印刷・配布

関係協力医療機関やがん登録対策専門委員の意見・要望等を取り入れて、報告書の編集刷新を図っていく。

#### 5) 第25回地域がん登録全国協議会総会研究会（石川県金沢市）への参加

第25回地域がん登録全国協議会研究会が6月2

日（木）、6月3日（金）に石川県金沢市「石川県女性センター（会長：金沢医科大学医学部 公衆衛生学 教授 西野善一先生）において開催され、尾崎委員長と岡本委員が参加した。6月2日にはがん登録実務者研修会が開催され、6月3日の学術集会では、「全国がん登録の保健・医療への貢献」をメインテーマに開催された。詳細内容は、鳥取県医師会報7月号に掲載。

全国がん登録データの利活用を中心とした内容であった。

## 2. その他

### ・がん登録データ利活用について

○吉田委員からは、例えば、乳がん罹患数は年々増加しているが、標準化罹患比は低く、まだこれから増えていくと思われるので、更なる、乳がん検診の受診勧奨が必要であるという話に繋がる。

よって、県民の方にはがん登録データを分かりやすく示して、がん検診受診啓発に使えるようなものを作成することを検討していただきたい。

⇒尾崎委員長からは、県とも相談して、県の

がん対策の一環として、がん登録で明らかになったデータを活用して、広く県民に伝える方法を考えていきたい。

○岡本委員からは、地域がん登録データから2003年以降の臨床進行度分布の集計が出来ることから、施設別の部位別の臨床進行度別生存率の公開を行ってはどうかという提案があった。

全国では17カ所で公開されている。

⇒協議の結果、公開に当たっては、データが評価に耐えうるものなのか、また、公開される病院の承諾をとることも必要である。そして、どの範囲まで公開するのかも検討する必要があるという意見があった。

よって、施設名付きの部位別の臨床進行度別生存率の公開については、ワーキンググループにて、作成されたデータをもとに、どこまで公表できるのか検討し、がん診療連携拠点病院及び準ずる病院の先生方と協議する場を設ける。また、既に情報公開している県に、公表に向けての合意のプロセスとか、公表後の混乱、問題点等について聞き取りを行うこととなった。







### 報告資料3 鳥取県医師会腫瘍調査部年間集計(平成28年1月～12月)

#### (1) 施設別登録件数

医療機関名		地域が ん登録	全国が ん登録
鳥取市	鳥取県立中央病院	484	0
	鳥取市立病院	541	0
	鳥取赤十字病院	312	0
	鳥取生協病院	186	0
	梅澤診療所	7	0
	かわぐち皮膚科	5	0
	野の花診療所	15	78
	まつだ内科医院	9	0
	よろずクリニック	3	0
	わたなベクリニック	0	8
	岩美郡	岩美病院	0
<b>東部小計</b>		<b>1,562</b>	<b>105</b>
倉吉市	鳥取県立厚生病院	462	0
	野島病院	68	0
	藤井たけちか内科	2	0
	清水病院	0	10
	北岡病院	0	18
	垣田病院	0	10
	谷口病院	0	10
	山本内科医院	0	3
東伯郡	中部医師会立三朝温泉病院	1	0
	森本外科脳神経外科医院	4	0
	岡本医院(北栄町)	2	1
	細川内科胃腸科医院	0	1
	赤碕診療所	0	11
<b>中部小計</b>		<b>539</b>	<b>64</b>

医療機関名		地域が ん登録	全国が ん登録
米子市	鳥取大学医学部附属病院	725	0
	米子医療センター	580	0
	山陰労災病院	249	0
	博愛病院	56	0
	越智内科医院	3	0
	新田外科胃腸科病院	6	6
	消化器クリニック米川医院	1	0
	境港市	済生会境港総合病院	64
西伯郡	西伯病院	25	46
	伯耆中央病院	4	5
日野郡	日野病院	0	5
	江尾診療所	2	0
<b>西部小計</b>		<b>1,715</b>	<b>62</b>
<b>合計</b>		<b>3,816</b>	<b>231</b>

\*多重がんについては判定が煩雑なため、2016年分のみ含まれます。

(2) 部位別登録件数 (含む重複例)

部 位	件 数
口腔・咽頭癌	69
食道癌	119
胃癌	518
結腸癌	364
直腸癌	194
肝臓癌	183
胆嚢・胆管癌	88
膵臓癌	148
喉頭癌	25
肺癌	472
皮膚癌	92
乳癌	309
子宮癌	153
卵巣癌	27
前立腺癌	236
膀胱癌	151
腎臓癌	95
脳腫瘍	33
甲状腺癌	61
リンパ腫	47
骨髄腫	37
造血組織	53
その他	342
合計	3,816

- ・鳥取県内居住者の届出件数です。
- ・届出件数3,816件でした。

資料1－1部位別・受診動機別集計結果(実数)

2012年標準集計対象

	有訴受診	健康診断 (人間ドック等)	各種がん検 診	他疾患 治療中	その他	計
全部位	1458	227	356	941	1292	4274
口腔・咽頭	47	0	1	15	13	76
食道	39	8	8	36	34	125
胃	147	59	79	133	254	672
結腸	152	26	58	79	153	468
直腸	76	9	27	33	76	221
肝臓	30	4	2	97	81	214
胆嚢胆管	33	1	0	21	35	90
膵臓	58	10	2	39	52	161
肺	142	35	34	130	186	527
皮膚	74	0	0	15	6	95
乳房	166	10	56	29	37	298
子宮	76	4	48	17	61	206
卵巣	29	2	3	3	14	51
前立腺	41	34	24	110	74	283
腎など	34	6	1	36	17	94
膀胱	68	3	4	28	31	134
脳など	44	4	0	20	11	79
甲状腺	21	2	2	23	21	69
その他	181	10	7	77	136	411

資料1－1部位別・受診動機別集計結果(%)

2012年標準集計対象

	有訴受診	健康診断 (人間ドック等)	各種がん検 診	他疾患 治療中	その他	計
全部位	34.1	5.3	8.3	22.0	30.2	100.0
口腔・咽頭	61.8	0.0	1.3	19.7	17.1	100.0
食道	31.2	6.4	6.4	28.8	27.2	100.0
胃	21.9	8.8	11.8	19.8	37.8	100.0
結腸	32.5	5.6	12.4	16.9	32.7	100.0
直腸	34.4	4.1	12.2	14.9	34.4	100.0
肝臓	14.0	1.9	0.9	45.3	37.9	100.0
胆嚢胆管	36.7	1.1	0.0	23.3	38.9	100.0
膵臓	36.0	6.2	1.2	24.2	32.3	100.0
肺	26.9	6.6	6.5	24.7	35.3	100.0
皮膚	77.9	0.0	0.0	15.8	6.3	100.0
乳房	55.7	3.4	18.8	9.7	12.4	100.0
子宮	36.9	1.9	23.3	8.3	29.6	100.0
卵巣	56.9	3.9	5.9	5.9	27.5	100.0
前立腺	14.5	12.0	8.5	38.9	26.1	100.0
腎など	36.2	6.4	1.1	38.3	18.1	100.0
膀胱	50.7	2.2	3.0	20.9	23.1	100.0
脳など	55.7	5.1	0.0	25.3	13.9	100.0
甲状腺	30.4	2.9	2.9	33.3	30.4	100.0
その他	44.0	2.4	1.7	18.7	33.1	100.0

資料1-2 部位別診断方法の割合(%) (新届出票)

-2012年診断-

部位	原発巣の組織診	転移巣の組織診	細胞診	部位特異的な腫瘍マーカー	臨床検査	臨床所見のみ
全部位	83.9	11.8	9.8	12.3	22.1	2.3
口腔・咽頭	96.0	2.0	2.0	1.0	6.1	2.0
食道	97.0	9.8	1.5	9.0	15.0	2.3
胃	96.0	11.7	4.0	13.3	18.8	1.2
結腸	94.5	13.5	5.8	15.8	22.0	1.7
直腸	94.5	8.4	3.3	9.1	18.6	2.9
肝臓	35.1	7.7	3.2	26.2	49.6	7.7
胆嚢・胆管	45.1	4.9	26.2	13.9	36.9	2.5
膵臓	46.0	7.4	21.0	22.7	43.8	8.5
喉頭	97.1	2.9	0.0	2.9	8.6	2.9
肺	71.6	15.3	27.6	15.9	27.1	2.8
皮膚	96.9	12.2	2.0	0.0	2.0	1.0
乳房	96.0	9.7	13.1	8.9	10.6	2.0
子宮	92.3	9.5	15.8	6.8	12.7	0.5
卵巣	76.9	19.2	23.1	23.1	25.0	0.0
前立腺	92.6	19.2	1.2	20.4	20.7	0.9
膀胱	78.5	13.8	13.1	3.8	32.3	2.3
腎など	90.8	19.0	20.9	3.9	26.1	2.0
脳など	69.0	7.1	2.4	9.5	40.5	7.1
甲状腺	92.4	10.1	13.9	11.4	20.3	1.3
リンパ腫	94.0	11.1	2.6	6.0	11.1	1.7
骨髄腫	71.1	5.3	7.9	13.2	21.1	0.0
造血組織	88.2	3.9	2.0	3.9	13.7	0.0

資料1-3 臨床進行度分布(%) : 部位別(上皮内がんを除く)

2012年診断

	集計対象数	2. 限局	3. 所属リンパ節転移	4. 隣接臓器浸潤	5. 遠隔転移	6. 不明
口腔・咽頭	155	49.5%	12.9%	33.3%	0.0%	4.3%
食道	140	38.0%	11.6%	28.1%	14.9%	7.4%
胃	744	62.1%	11.1%	4.7%	17.2%	4.9%
大腸(結腸・直腸)	658	47.1%	18.7%	8.4%	19.3%	6.5%
結腸	526	46.2%	18.9%	9.1%	18.9%	6.8%
直腸	267	48.9%	18.3%	6.8%	20.1%	5.9%
肝臓	235	67.2%	3.0%	10.2%	13.2%	6.4%
胆嚢・胆管	111	31.5%	7.2%	31.5%	21.6%	8.1%
膵臓	175	12.2%	3.5%	30.8%	46.5%	7.0%
喉頭	35	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
肺	528	38.9%	10.4%	9.7%	37.8%	3.2%
骨・軟部	16	50.0%	0.0%	37.5%	12.5%	0.0%
皮膚	121	92.5%	1.1%	6.5%	0.0%	0.0%
乳房	324	63.7%	20.9%	5.8%	4.2%	5.5%
子宮	124	58.9%	4.8%	21.8%	8.9%	5.6%
卵巣	51	17.6%	0.0%	56.9%	21.6%	3.9%
前立腺	335	61.0%	2.1%	17.1%	12.3%	7.5%
腎など	119	60.2%	4.2%	11.9%	15.3%	8.5%
膀胱	166	71.0%	1.4%	12.3%	4.3%	10.9%
脳など	99	86.9%	0.0%	7.1%	1.0%	5.1%
甲状腺	80	46.3%	28.8%	13.8%	6.3%	5.0%

資料1-4 臨床進行度分布(%) : 部位別(上皮内がんを含む)

2012年診断

	集計対象数	1. 上皮内がん	2. 限局	3. 所属リンパ節転移	4. 隣接臓器浸潤	5. 遠隔転移	6. 不明
食道	140	13.6%	32.9%	10.0%	24.3%	12.9%	6.4%
大腸(結腸・直腸)	793	17.0%	39.1%	15.5%	6.9%	16.0%	5.4%
結腸	526	16.5%	38.6%	15.8%	7.6%	15.8%	5.7%
直腸	267	18.0%	40.1%	15.0%	5.6%	16.5%	4.9%
肺	528	0.2%	38.8%	10.4%	9.7%	37.7%	3.2%
皮膚	121	23.1%	71.1%	0.8%	5.0%	0.0%	0.0%
乳房	324	4.0%	61.1%	20.1%	5.6%	4.0%	5.2%
子宮	170	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
膀胱	166	16.9%	59.0%	1.2%	10.2%	3.6%	9.0%

資料2-1 部位別・治療方法別患者割合(%)

-2012年診断

部位	手術		放射線治療		化学療法
	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県
全部位	61.5	59.1	8.9	9.8	29.7
胃	77.5	71.2	0.3	0.6	22.2
結腸	80.2	78.1	0.3	0.6	19.4
直腸	76.2	81.1	1.7	2.1	22.1
肝臓	38.2	19.2	5.1	2.1	56.6
肺	41.3	33.6	14.7	21.9	44.0
乳房	55.5	87.2	23.5	18.8	21.0
子宮	75.6	68.2	8.9	18.2	15.6

\*全国値は2000年

資料2-2 治療状況の年次推移(%)

手術 (%)

-2012年診断

	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
89-90	68.1	80.6	89.8	86.9	25.2	28.7	94.3	70.1
91-92	69.7	82.8	88.8	90.5	27.8	35.3	94.5	47.3
93-94	71.5	79.3	92.8	87.6	28.7	46.8	92.7	62.2
95-96	69.9	80.9	89.1	87.9	35.5	30.5	88.3	62.3
97-98	69.1	80.2	87.3	88.0	39.9	42.0	89.8	63.2
99-00	68.8	80.5	90.4	91.1	40.0	36.4	92.3	76.8
01-02	69.2	82.7	90.4	93.5	31.8	45.3	82.2	81.1
03-04	65.0	81.0	89.1	87.5	27.4	40.4	88.8	79.9
05-06	63.7	83.1	82.6	76.8	52.5	36.9	55.6	72.9
07-08	59.9	79.1	78.7	73.8	40.8	38.0	53.5	69.4
09-10	61.1	77.9	79.1	74.4	41.7	40.9	54.9	67.6
11-12	60.8	76.2	80.7	73.9	39.0	40.5	55.7	74.7

放射線療法 (%)

	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
89-90	10.6	0.3	1.3	0.4	14.7	33.6	3.6	43.5
91-92	9.4	0.4	0.2	1.1	20.7	28.3	3.9	25.3
93-94	7.6	0.5	0.4	1.3	2.5	27.1	10.9	31.1
95-96	8.1	0.5	0.0	2.9	1.9	29.9	17.5	22.6
97-98	8.4	0.8	0.2	1.6	2.5	22.1	20.4	23.2
99-00	10.2	0.6	0.6	2.3	4.8	29.3	18.0	23.2
01-02	9.8	0.2	0.3	1.4	5.4	21.0	22.9	18.8
03-04	11.4	1.1	1.2	4.5	4.4	25.1	21.6	16.5
05-06	10.4	0.6	0.7	2.2	6.6	21.0	20.6	11.8
07-08	10.3	0.4	0.3	1.7	5.7	17.3	23.4	8.1
09-10	9.1	0.5	0.5	2.6	2.6	14.2	23.7	12.1
11-12	9.4	0.3	0.4	3.1	4.1	15.6	23.0	10.2

化学療法 (%)

	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
89-90	35.2	27.8	32.9	34.1	48.1	45.3	60.9	25.2
91-92	27.9	22.5	28.8	31.0	44.0	27.4	53.9	4.4
93-94	22.8	15.4	20.8	22.2	30.3	32.9	36.5	8.9
95-96	20.0	14.3	16.7	24.3	23.4	28.7	43.3	3.8
97-98	20.0	15.5	17.5	22.8	18.5	28.5	33.3	9.5
99-00	20.9	17.9	20.0	26.1	18.8	23.9	34.7	19.9
01-02	22.5	16.4	13.7	24.9	14.0	36.1	32.0	25.4
03-04	24.4	17.5	15.0	19.6	20.3	39.0	34.7	21.9
05-06	25.9	16.3	16.6	21.0	41.0	42.1	23.9	15.4
07-08	29.9	20.5	21.0	24.5	53.5	44.7	23.1	22.5
09-10	29.8	21.6	20.4	23.1	55.7	44.9	21.3	20.3
11-12	29.8	23.5	19.0	23.0	56.9	43.9	21.3	15.1

資料3-1 主要病院別届出件数の年次推移

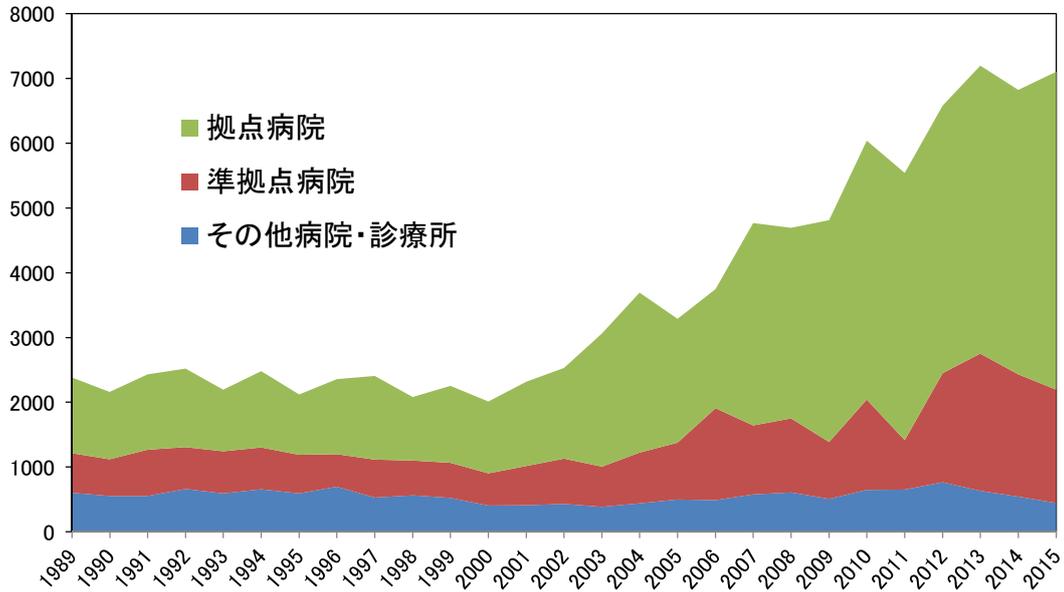
	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998
鳥取県立中央病院	447	394	516	380	224	381	255	287	368	278
鳥取市立病院	292	118	149	159	265	211	116	283	274	160
鳥取赤十字病院	254	83	209	182	170	226	170	45	116	132
鳥取生協病院	80	138	71	64	73	24	87	92	55	85
鳥取県立厚生病院	258	260	221	221	196	326	248	195	292	267
野島病院	44	53	66	73	69	76	74	45	51	58
鳥取大学附属病院	142	267	279	361	242	261	305	357	215	245
米子医療センター	30	1	0	92	25	0	8	36	140	30
山陰労災病院	232	230	321	303	249	291	266	298	237	170
博愛病院	2	63	46	23	87	30	0	20	127	95
済生会境港総合病院	48	56	30	33	48	44	37	28	1	1
西伯病院	22	25	21	25	33	52	38	74	80	68
日野病院	0	5	23	4	0	0	0	35	45	22
拠点病院	1,169	1,040	1,165	1,213	952	1,179	932	1,158	1,289	980
準拠点病院	612	567	713	645	648	647	597	500	586	540
その他病院・診療所	601	554	553	660	593	655	589	697	529	560
全県届出数	2,382	2,161	2,431	2,518	2,193	2,481	2,118	2,355	2,404	2,080

	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
鳥取県立中央病院	298	262	370	164	518	512	351	321	792	751
鳥取市立病院	188	171	214	502	700	860	635	578	515	794
鳥取赤十字病院	102	124	206	284	221	267	431	665	410	381
鳥取生協病院	124	77	93	87	73	96	62	160	71	17
鳥取県立厚生病院	227	218	213	261	213	202	274	298	134	495
野島病院	81	59	73	87	36	112	51	114	132	156
鳥取大学附属病院	266	233	286	208	375	355	304	419	1,107	706
米子医療センター	208	227	217	262	249	545	352	222	578	197
山陰労災病院	144	208	168	218	225	200	236	449	332	523
博愛病院	94	31	67	28	66	108	97	32	118	69
済生会境港総合病院	9	5	0	10	0	5	0	0	17	43
西伯病院	53	54	30	25	21	22	9	0	0	52
日野病院	15	1	0	0	1	0	0	0	0	0
拠点病院	1,187	1,111	1,300	1,397	2,055	2,474	1,916	1,838	3,126	2,943
準拠点病院	545	499	607	704	621	783	877	1,420	1,063	1,146
その他病院・診療所	521	402	409	427	384	438	497	489	577	604
全県届出数	2,253	2,012	2,316	2,528	3,060	3,695	3,290	3,747	4,766	4,693

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
鳥取県立中央病院	726	858	828	813	898	833	986
鳥取市立病院	730	746	613	711	783	662	759
鳥取赤十字病院	314	287	205	719	752	695	633
鳥取生協病院	25	161	116	169	288	187	188
鳥取県立厚生病院	584	659	594	725	661	738	589
野島病院	198	149	181	194	205	207	194
鳥取大学附属病院	751	997	1,430	1,277	1,444	1,359	1,565
米子医療センター	637	739	662	608	663	803	1,013
山陰労災病院	271	672	165	452	680	594	548
博愛病院	68	130	98	152	192	206	188
済生会境港総合病院	81	108	102	147	130	133	90
西伯病院	38	0	0	76	52	69	85
日野病院	12	21	15	13	5	45	13
拠点病院	3,428	3,999	4,127	4,134	4,449	4,395	4,912
準拠点病院	876	1,399	765	1,686	2,117	1,889	1,751
その他病院・診療所	507	644	652	763	633	541	441
全県届出数	4,811	6,042	5,544	6,583	7,199	6,825	7,104

註)  
 拠点病院  
 鳥取県立中央病院  
 鳥取市立病院  
 鳥取県立厚生病院  
 米子医療センター  
 鳥取大学附属病院  
  
 準拠点病院  
 鳥取赤十字病院  
 鳥取生協病院  
 野島病院  
 山陰労災病院  
 博愛病院

### 資料3-2 医療機関別届出件数の年次推移



### 資料3-3 平成27年主要病院・部位別届出集計

	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢	膵臓	肺	乳房	子宮	前立腺	膀胱	腎臓	甲状腺	リンパ腫	多発性骨髄腫	白血病	その他	合計
鳥取県立中央病院	25	116	85	36	32	24	34	175	28	59	37	33	36	13	5	16	22	118	986
鳥取市立病院	27	122	73	30	40	18	33	96	53	22	83	28	30	5	3	6	7	51	759
鳥取赤十字病院	9	117	68	31	30	18	20	24	62	19	58	40	34	6	17	3	0	48	633
鳥取生協病院	4	40	18	6	17	10	12	37	6	5	7	3	1	2	1	0	1	13	188
鳥取県立厚生病院	23	92	77	30	44	20	37	110	49	27	14	7	6	7	0	3	0	21	589
野島病院	2	41	34	16	7	3	12	7	19	0	11	3	2	8	4	0	0	19	194
鳥取大学附属病院	41	123	63	41	54	18	40	190	110	87	120	76	52	35	59	13	20	222	1565
米子医療センター	24	132	105	61	42	28	47	159	114	6	76	30	40	10	3	6	22	87	1013
山陰労災病院	16	104	81	38	57	14	23	33	13	7	60	19	41	2	0	4	1	26	548
博愛病院	7	34	44	15	4	7	3	1	51	15	0	0	0	0	1	0	0	6	188
済生会境港総合病院	2	28	16	9	3	1	6	11	7	0	1	1	1	0	0	0	0	3	90
西伯病院	2	16	13	7	4	1	4	13	12	4	1	1	0	0	0	0	0	5	85
日野病院	1	2	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	13
東部	66	417	252	112	129	75	102	347	153	106	187	109	103	26	28	27	30	231	2664
中部	27	145	116	53	51	23	50	119	70	27	25	10	8	15	5	5	0	44	830
西部	95	467	337	182	167	73	128	418	310	121	264	130	136	47	63	24	45	360	3610
鳥取県	188	1029	705	347	347	171	280	884	533	254	476	249	247	88	96	56	75	635	7104

資料4-1 鳥取県における部位別登録精度(DCN)の年次推移

男性

	1993	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
全部位	30.4	25.0	31.0	35.4	37.2	35.8	32.3	25.7	26.6	24.4	18.8	17.4	14.6	13.6	11.7	9.2	8.2	6.2
食道	22.0	18.0	23.7	34.5	35.7	27.3	25.6	18.6	26.1	24.0	15.0	11.0	9.1	16.8	5.0	4.9	4.2	1.6
胃	17.8	14.1	17.7	20.1	23.8	25.8	18.0	14.8	15.1	15.0	12.7	10.7	10.2	8.8	8.9	7.8	8.7	4.6
結腸	14.0	12.9	15.2	19.6	21.1	19.2	18.2	15.2	19.9	14.9	11.0	9.3	9.4	8.5	8.7	7.1	5.5	5.3
直腸	8.9	23.1	16.5	23.2	21.2	18.5	25.0	8.1	15.4	9.1	11.8	8.5	4.2	7.9	6.1	4.4	3.7	5.2
肝臓	50.3	28.6	48.2	42.4	50.6	50.3	56.7	37.4	39.2	44.9	26.3	21.7	20.8	16.9	21.9	15.0	13.8	9.8
胆嚢	35.4	42.6	43.9	55.8	60.0	38.5	52.8	52.4	46.8	40.7	36.2	28.6	26.8	27.9	12.3	11.0	15.7	16.9
膵臓	52.4	29.6	50.0	62.8	62.2	70.0	54.9	45.2	42.2	51.3	25.0	29.0	17.6	26.2	31.1	7.8	17.6	8.7
肺	48.1	48.2	47.6	55.0	51.5	53.4	44.9	36.7	35.6	29.9	28.2	25.8	22.4	20.5	15.0	14.2	11.2	9.4
前立腺	44.0	15.1	37.4	26.8	19.1	20.2	25.0	13.3	19.6	14.3	12.3	12.9	8.5	8.0	9.1	7.7	4.5	5.3
膀胱	29.3	13.0	7.1	23.3	17.7	14.5	27.7	17.3	15.4	9.5	5.38	10.7	6.9	8.8	8.2	5.5	4.7	3.1
腎臓	35.3	20.0	20.7	40.7	24.1	31.3	33.3	31.9	34.9	31.0	22.2	22.2	17.6	10.4	6.8	8.9	2.2	6.3
甲状腺	12.5	14.3	14.3	25.0	16.7	0.0	50.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	8.3	0.0	5.3	0.0
リンパ組織	55.3	61.2	63.4	52.9	72.7	69.2	58.5	44.0	50.9	50.0	31.9	26.3	31.3	25.3	11.8	16.2	12.5	3.8
造血器組織	47.6	53.8	63.2	81.0	76.9	47.1	63.3	69.2	57.5	51.4	50.0	34.5	39.6	22.4	18.5	11.9	6.6	21.0

女性

	1993	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
全部位	26.8	24.5	33.0	38.1	34.9	37.1	33.7	26.6	30.7	23.4	19.4	19.1	14.8	15.1	14.1	12.3	11.4	7.3
食道	0.0	40.0	14.3	27.3	66.7	30.8	25.0	33.3	33.3	26.7	20.0	14.3	35.7	7.7	10.5	0.0	14.3	0.0
胃	17.6	18.0	22.9	24.9	27.8	31.1	25.9	22.4	23.8	20.4	13.1	13.9	13.2	13.7	16.1	13.8	11.7	5.5
結腸	18.6	12.0	21.7	23.3	20.3	29.7	22.2	20.2	28.7	17.7	12.9	13.2	9.9	12.1	11.0	15.0	14.5	8.3
直腸	12.5	11.5	22.8	17.0	23.4	26.1	24.2	12.8	24.1	17.9	9.1	14.7	9.5	9.9	4.3	12.2	7.2	2.9
肝臓	39.0	34.2	54.3	61.1	63.4	55.7	59.7	42.1	42.2	35.4	37.5	34.9	25.5	20.0	29.5	21.3	22.2	11.5
胆嚢	50.9	60.0	54.8	53.9	48.3	60.3	63.8	70.8	51.9	39.1	44.1	37.8	27.2	35.8	29.4	29.5	33.3	18.2
膵臓	57.5	40.5	50.0	62.9	51.7	53.8	57.9	50.0	55.2	51.5	34.8	32.4	35.6	30.5	25.8	26.2	15.8	18.0
肺	44.4	37.0	45.8	52.4	48.4	46.4	53.4	32.1	36.8	37.3	21.3	28.0	20.7	25.7	16.5	14.6	15.0	14.6
乳房	4.6	9.3	10.7	13.1	9.9	16.2	9.5	10.3	9.3	5.9	7.1	7.3	1.9	2.1	4.9	3.7	3.1	1.7
子宮	26.9	25.4	29.9	37.9	17.4	17.9	13.3	9.5	12.0	8.8	5.6	6.2	3.1	2.4	4.7	3.6	2.8	2.3
卵巣	57.9	50.0	51.6	57.1	46.9	40.5	31.9	17.8	32.6	14.0	17.3	17.5	10.5	17.0	20.0	13.0	8.3	7.3
膀胱	60.0	23.1	47.4	47.1	23.8	31.3	23.1	23.1	27.6	25.6	27.3	24.2	20.5	18.2	9.1	15.4	8.0	2.3
腎臓	38.5	36.4	40.9	50.0	58.3	40.9	27.3	38.1	37.5	31.0	25.7	17.1	21.1	30.2	14.6	11.9	15.4	8.0
甲状腺	4.9	3.0	14.3	14.3	15.6	20.0	21.4	3.4	19.2	0.0	25.0	7.7	5.3	4.5	2.6	2.2	5.7	0.0
リンパ組織	53.6	42.9	43.2	63.9	72.6	48.7	69.4	44.0	50.7	50.0	35.1	36.2	33.3	24.0	13.2	9.0	15.3	8.6
造血器組織	33.3	70.0	82.6	91.3	50.0	88.9	86.7	54.5	70.0	47.1	44.0	40.9	24.4	25.0	30.6	5.1	15.2	22.0

資料4-2 鳥取県における組織診実施割合(HV/1%)の年次推移

男性

	1979	1984	1987	1990	1993	1996	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
全部位	33.4	34.5	51.1	45.5	53.9	48.3	46.2	51.3	54.8	57.7	60.8	61.1	66.1	67.2	71.5	75.8	77.0	78.1	78.8	81.6
食道	14.3	48.6	63.0	50.0	58.5	68.9	50.0	63.6	68.6	67.8	65.2	66.7	76.3	83.0	85.1	77.9	93.1	90.2	89.5	93.7
胃	41.8	44.6	72.4	67.2	76.0	67.5	61.9	68.4	68.1	73.8	78.0	74.8	82.1	86.5	85.7	88.4	87.9	88.5	88.3	91.1
結腸	43.3	34.5	53.1	54.0	77.7	68.2	61.1	73.1	71.9	70.7	69.1	74.4	77.5	79.8	84.4	88.4	87.3	85.8	89.1	91.2
直腸	28.6	28.1	61.6	52.7	77.0	58.7	64.4	71.7	68.8	80.2	79.5	76.4	80.6	83.1	88.0	90.4	90.9	92.1	88.3	90.2
肝臓	4.4	11.3	10.4	5.8	9.3	13.6	14.6	16.3	9.1	10.6	13.1	15.2	20.1	17.2	21.9	27.0	22.5	25.6	29.8	35.0
胆嚢・胆管	21.4	5.9	45.2	11.4	16.7	14.9	8.3	38.5	22.2	16.7	14.9	25.4	39.7	42.9	46.4	50.0	58.9	60.3	54.2	58.5
膵臓	17.2	13.6	10.9	11.5	19.1	13.0	10.8	8.3	15.5	12.3	16.7	15.0	28.9	25.8	23.1	34.5	27.8	51.5	45.4	54.4
肺	16.8	31.6	46.8	38.3	38.8	32.8	41.9	39.6	48.8	52.8	55.1	56.7	56.9	56.1	64.7	68.1	73.5	73.5	75.1	73.6
前立腺	23.8	13.6	47.5	39.6	34.7	58.1	63.2	68.6	69.8	81.7	76.6	77.0	80.3	82.5	86.0	85.6	83.6	86.5	86.8	87.7
膀胱	54.5	25.0	44.1	53.7	61.0	22.2	55.7	56.5	52.3	72.0	80.8	82.1	84.9	83.3	84.5	84.0	86.1	89.1	89.1	92.9
腎臓	45.5	0.0	26.3	23.8	38.2	23.3	41.4	31.3	42.4	51.1	53.5	50.9	61.1	57.1	60.3	82.1	82.2	72.2	82.0	80.0
甲状腺	40.0	33.3	75.0	100.0	87.5	71.4	83.3	100.0	50.0	42.9	100.0	100.0	90.0	66.7	81.8	87.5	91.7	100.0	89.5	100.0
リンパ組織	44.4	61.9	32.3	26.8	40.4	32.0	22.7	26.9	36.6	56.0	45.3	36.0	52.2	63.2	59.4	70.7	80.9	81.1	78.8	89.7
造血器組織	23.5	7.7	33.3	9.5	19.1	30.8	15.4	29.4	36.7	23.1	37.5	37.1	41.7	51.7	56.3	77.6	72.3	88.1	90.8	71.0

\* 2000年以降について、50%以下のものに色を付けた

女性

	1979	1984	1987	1990	1993	1996	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
全部位	38.6	38.4	54.4	50.7	58.2	49.2	51.3	50.6	54.5	58.2	57.0	62.8	64.8	65.9	71.6	73.3	75.1	75.9	76.9	81.2
食道	0.0	37.5	33.3	37.5	66.7	60.0	22.2	46.2	75.0	50.0	46.7	60.0	73.3	85.7	57.1	76.9	84.2	100.0	85.7	100.0
胃	37.3	44.1	67.9	67.4	77.5	68.6	57.0	60.9	62.5	67.8	69.2	71.6	80.6	81.1	83.8	81.4	81.3	83.0	81.6	90.9
結腸	36.4	28.3	66.7	35.8	68.2	61.3	63.5	57.3	65.3	67.4	60.1	70.7	75.3	74.1	82.0	83.5	83.3	79.1	78.3	84.5
直腸	34.2	55.2	46.7	67.8	75.0	67.9	57.8	62.3	69.4	66.7	64.6	73.7	78.4	80.0	82.1	78.0	90.3	81.1	85.6	92.4
肝臓	0.0	9.1	12.0	9.8	17.0	9.2	9.9	13.9	10.4	3.9	12.2	18.3	14.8	9.4	16.4	20.0	25.0	18.8	14.4	28.7
胆嚢・胆管	17.4	29.0	32.4	29.2	24.6	20.0	26.7	19.1	12.1	6.3	19.2	28.1	25.0	31.1	34.6	31.3	47.1	41.0	47.4	48.1
膵臓	12.1	6.7	10.5	8.6	14.9	19.0	17.2	20.0	7.0	14.3	11.9	10.6	17.4	20.3	21.8	26.8	31.2	32.1	31.6	46.0
肺	17.0	30.5	45.1	38.2	33.3	43.2	35.9	46.4	38.2	51.9	49.3	46.0	63.1	50.3	62.6	62.1	68.0	70.9	72.3	71.2
乳房	69.7	58.6	74.4	69.3	82.3	56.8	82.6	76.2	83.7	83.3	87.4	89.4	84.8	86.5	94.7	94.7	91.0	93.0	95.7	96.8
子宮	40.5	44.9	68.5	74.0	65.7	34.9	81.7	80.2	81.9	81.9	84.9	88.8	88.1	91.8	93.7	97.6	94.6	92.2	96.7	95.4
卵巣	41.2	23.1	68.2	42.9	31.6	29.2	46.9	40.5	59.6	68.9	60.5	74.0	69.2	67.5	87.7	69.8	62.5	76.1	80.6	81.8
膀胱	42.9	17.6	27.3	50.0	20.0	30.8	57.1	43.8	69.2	69.2	58.6	62.8	60.6	66.7	65.9	72.7	78.8	79.5	84.0	84.1
腎臓	25.0	16.7	23.1	26.7	38.5	9.1	25.0	27.3	50.0	38.1	45.8	48.3	42.9	70.7	55.3	58.1	73.2	66.7	74.4	74.0
甲状腺	81.4	65.4	81.6	68.4	87.8	63.6	78.1	80.0	71.4	89.7	73.1	87.5	70.0	87.2	94.7	88.6	94.7	93.3	92.5	94.7
リンパ組織	66.7	44.4	43.5	16.0	39.3	41.1	25.8	51.3	28.6	56.0	44.8	36.0	45.9	46.8	58.0	69.3	80.3	82.1	77.8	80.2
造血器組織	35.3	57.1	27.3	20.0	50.0	20.0	42.9	5.6	13.3	36.4	30.0	41.2	44.0	50.0	70.7	62.5	58.3	87.2	78.3	70.0

\* 2000年以降について、50%以下のものに色を付けた







資料6 平成24年・市郡別罹患数

市町村	全部位		食道		胃		結腸		直腸		肝臓		胆嚢胆管	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
県計	2,945	2,210	127	17	519	274	319	252	174	105	183	87	65	77
市計	2,062	1,609	94	15	349	194	240	194	122	82	123	59	35	52
郡計	883	601	33	2	170	80	79	58	52	23	60	28	30	25
鳥取市	933	700	42	4	164	101	106	89	62	43	50	26	16	24
倉吉市	239	198	8	3	55	17	32	24	11	9	13	8	4	8
米子市	708	549	36	7	103	53	84	63	41	29	48	16	11	17
境港市	182	162	8	1	27	23	18	18	8	1	12	9	4	3
岩美郡	72	47	2	1	13	5	9	6	4	2	7	1	7	3
八頭郡	198	122	7	0	40	21	23	16	13	5	15	9	8	4
東伯郡	304	218	10	1	53	25	30	13	20	10	18	9	8	9
西伯郡	234	148	11	0	50	18	12	15	13	5	12	4	7	4
日野郡	75	66	3	0	14	11	5	8	2	1	8	5	0	5
鳥取保健所	1,203	869	51	5	217	127	138	111	79	50	72	36	31	31
倉吉保健所	543	416	18	4	108	42	62	37	31	19	31	17	12	17
米子保健所	1,124	859	55	8	180	94	114	96	62	35	72	29	22	24
日野保健所	75	66	3	0	14	11	5	8	2	1	8	5	0	5
東部	1,203	869	51	5	217	127	138	111	79	50	72	36	31	31
中部	543	416	18	4	108	42	62	37	31	19	31	17	12	17
西部	1,199	925	58	8	194	105	119	104	64	36	80	34	22	29

市町村	膵臓		肺		乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱		リンパ腫	
	男	女	男	女	女	女	女	男	男	女	男	女
県計	103	100	394	205	347	219	55	357	127	44	55	61
市計	73	59	268	144	244	175	43	249	93	27	41	43
郡計	30	41	126	61	103	44	12	108	34	17	14	18
鳥取市	35	23	121	53	84	84	18	116	38	14	12	23
倉吉市	8	9	33	24	32	16	9	19	5	1	5	0
米子市	23	23	93	52	103	58	13	92	37	10	17	14
境港市	7	4	21	15	25	17	3	22	13	2	7	6
岩美郡	3	4	12	5	8	5	1	3	2	4	0	0
八頭郡	4	7	21	10	17	5	1	31	7	2	1	2
東伯郡	12	19	48	26	38	25	5	31	12	3	10	5
西伯郡	6	7	34	15	30	9	5	36	8	6	2	9
日野郡	5	4	11	5	10	0	0	7	5	2	1	2
鳥取保健所	42	34	154	68	109	94	20	150	47	20	13	25
倉吉保健所	20	28	81	50	70	41	14	50	17	4	15	5
米子保健所	36	34	148	82	158	84	21	150	58	18	26	29
日野保健所	5	4	11	5	10	0	0	7	5	2	1	2
東部	42	34	154	68	109	94	20	150	47	20	13	25
中部	20	28	81	50	70	41	14	50	17	4	15	5
西部	41	38	159	87	168	84	21	157	63	20	27	31

資料7 平成24年・市郡別年齢調整罹患率  
(昭和60年モデル人口、人口10万対)

市町村	全部位		食道		胃		結腸		直腸		肝臓		胆嚢胆管	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
県計	540.3	391.3	24.1	2.6	94.4	36.9	57.6	35.9	35.0	16.4	33.4	8.7	10.1	6.3
市計	545.0	404.4	25.6	3.5	93.1	38.0	62.3	38.5	33.8	18.7	31.7	8.7	8.5	5.8
郡計	529.5	357.8	20.8	0.4	96.3	33.6	47.5	30.5	38.9	10.5	38.2	9.4	13.2	7.7
鳥取市	566.2	406.1	25.9	1.9	101.9	44.0	62.2	40.6	38.9	22.3	31.3	8.8	9.5	6.6
倉吉市	491.3	392.5	20.1	4.2	119.5	29.2	58.6	30.5	26.4	13.1	23.2	10.9	6.7	5.1
米子市	545.3	401.2	27.8	5.8	77.4	31.4	63.4	37.8	33.1	20.0	34.1	5.5	7.2	6.1
境港市	516.5	436.4	24.8	2.5	69.7	49.6	58.1	40.2	26.4	2.5	36.8	16.7	11.3	1.8
岩美郡	559.2	417.9	11.0	4.4	107.5	46.9	51.2	53.7	36.5	6.9	79.5	1.1	40.7	6.1
八頭郡	647.7	367.7	24.2	0.0	123.4	46.9	75.4	27.3	44.9	13.9	54.1	19.0	15.6	10.1
東伯郡	495.1	365.2	14.6	0.3	83.7	28.9	53.6	18.9	38.2	16.6	28.5	8.6	10.7	7.7
西伯郡	519.5	310.2	29.0	0.0	97.1	20.2	27.3	37.6	43.8	4.6	23.5	3.5	11.9	3.6
日野郡	412.3	386.9	22.8	0.0	64.6	49.1	20.2	41.5	14.1	0.8	61.2	17.9	0.0	15.8
鳥取保健所	577.6	402.2	24.7	1.8	106.0	44.6	63.4	39.6	39.7	20.4	36.8	9.7	12.5	7.1
倉吉保健所	494.5	378.4	17.0	2.1	100.2	29.1	55.7	24.1	33.3	14.9	26.0	9.6	8.8	6.5
米子保健所	532.1	388.1	27.4	4.1	80.4	32.4	54.2	37.2	33.3	14.2	32.2	7.0	9.0	4.8
日野保健所	412.3	386.9	22.8	0.0	64.6	49.1	20.2	41.5	14.1	0.8	61.2	17.9	0.0	15.8
東部	577.6	402.2	24.7	1.8	106.0	44.6	63.4	39.6	39.7	20.4	36.8	9.7	12.5	7.1
中部	494.5	378.4	17.0	2.1	100.2	29.1	55.7	24.1	33.3	14.9	26.0	9.6	8.8	6.5
西部	524.6	388.5	27.2	3.8	79.7	33.9	52.3	37.6	32.2	13.5	33.6	7.6	8.3	5.5

市町村	膵臓		肺		乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱		リンパ腫	
	男	女	男	女	女	女	女	男	男	女	男	女
県計	18.5	12.0	70.9	25.2	87.0	72.1	12.0	59.3	21.5	4.9	10.7	9.5
市計	18.9	11.1	69.5	26.3	82.1	77.7	13.4	59.9	22.7	4.1	11.1	10.0
郡計	17.7	14.2	74.3	22.2	102.9	54.3	8.2	57.7	18.7	7.0	10.3	7.4
鳥取市	21.8	11.3	73.2	24.5	63.7	88.9	13.7	62.7	20.8	4.6	8.2	12.0
倉吉市	12.9	11.2	55.3	25.9	101.9	46.6	20.8	35.1	10.1	2.1	10.7	0.0
米子市	17.1	11.7	71.8	27.8	97.4	74.2	11.5	67.0	26.2	3.9	13.0	9.9
境港市	19.3	7.5	57.7	28.0	95.7	74.6	8.8	55.7	38.3	5.3	16.9	15.8
岩美郡	22.9	7.2	101.4	34.9	124.4	107.8	8.4	20.1	9.9	12.4	0.0	0.0
八頭郡	11.7	21.0	73.1	17.8	97.4	36.5	4.2	91.1	19.8	9.1	1.7	1.0
東伯郡	23.3	17.5	75.9	23.3	94.3	79.4	7.1	43.8	20.0	5.7	17.0	6.9
西伯郡	11.0	8.3	67.7	21.9	101.2	28.8	15.6	69.8	17.9	4.0	11.2	15.1
日野郡	23.4	9.0	68.0	17.6	163.8	0.0	0.0	36.6	18.9	11.5	9.8	3.6
鳥取保健所	20.5	12.5	74.3	24.3	70.2	84.0	12.3	64.4	20.1	5.7	7.0	9.8
倉吉保健所	18.6	14.5	66.3	24.5	98.1	63.5	13.5	40.0	15.6	4.1	14.1	3.8
米子保健所	16.1	10.3	69.0	26.6	96.9	66.3	11.9	65.7	26.2	4.3	12.8	12.3
日野保健所	23.4	9.0	68.0	17.6	163.8	0.0	0.0	36.6	18.9	11.5	9.8	3.6
東部	20.5	12.5	74.3	24.3	70.2	84.0	12.3	64.4	20.1	5.7	7.0	9.8
中部	18.6	14.5	66.3	24.5	98.1	63.5	13.5	40.0	15.6	4.1	14.1	3.8
西部	16.6	10.3	68.6	26.1	98.8	63.7	11.3	63.5	25.8	4.7	12.5	11.9

資料8-1 平成24年・標準化罹患比(全国=100)

市町村	全部位		胃		結腸		直腸		肝臓		肺		前立腺	乳房	子宮
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女
県計	110.7	105.3	116.2	122.5	103.1	95.8	98.2	103.8	130.3	103.9	102.5	105.2	100.4	88.0	104.8
市計	112.2	109.7	113.3	126.6	111.9	107.3	98.6	116.9	126.9	103.8	101.6	107.6	101.6	86.3	112.9
郡計	107.4	95.1	122.7	113.7	83.0	70.5	97.1	74.3	137.9	104.2	104.4	99.9	97.6	92.3	81.7
鳥取市	113.9	107.7	119.5	149.8	110.7	111.8	111.5	138.8	115.8	104.2	103.2	90.1	107.4	66.5	119.4
米子市	114.8	109.8	99.7	102.1	116.8	102.8	98.9	121.4	147.6	83.5	105.3	114.6	111.1	105.7	107.7
倉吉市	99.1	102.8	135.6	81.3	114.4	98.0	69.5	96.7	102.1	101.8	93.8	132.2	58.7	91.1	88.2
境港市	113.2	130.7	100.0	176.1	96.0	116.8	74.3	16.7	141.2	184.8	90.9	130.8	101.1	104.5	134.5
岩美郡	116.8	95.0	125.1	91.3	125.7	93.7	98.3	82.9	214.4	48.0	133.5	105.4	36.2	90.9	116.1
八頭郡	125.5	102.3	150.4	158.0	125.9	103.0	126.3	85.3	179.4	176.8	90.6	86.7	146.6	80.4	49.6
東伯郡	106.0	98.2	109.8	103.0	90.1	45.7	105.8	92.5	118.7	98.0	114.7	123.2	80.7	94.1	124.0
西伯郡	100.6	83.1	127.6	91.1	44.6	64.8	85.6	57.4	97.4	53.2	99.8	87.2	114.2	95.2	58.8
日野郡	90.1	104.5	99.5	145.7	52.7	91.9	39.2	31.6	181.3	167.0	86.8	76.9	61.8	102.2	0.0
鳥取保健所	115.8	106.1	124.5	147.4	113.9	109.3	112.9	127.4	131.4	112.0	103.1	90.6	109.1	69.8	110.8
倉吉保健所	102.8	100.3	121.6	93.0	101.2	69.9	89.2	94.4	111.1	99.7	105.1	127.4	70.7	92.7	107.0
米子保健所	111.3	107.1	106.2	111.0	96.9	96.2	92.0	90.7	135.0	92.0	101.7	110.7	110.2	103.4	102.7
日野保健所	90.1	104.5	99.5	145.7	52.7	91.9	39.2	31.6	181.3	167.0	86.8	76.9	61.8	102.2	0.0
東部	115.8	106.1	124.5	147.4	113.9	109.3	112.9	127.4	131.4	112.0	103.1	90.6	109.1	69.8	110.8
中部	102.8	100.3	121.6	93.0	101.2	69.9	89.2	94.4	111.1	99.7	105.1	127.4	70.7	92.7	107.0
西部	109.7	106.9	105.7	113.8	93.6	95.8	88.3	86.2	138.6	98.5	100.6	108.0	106.5	103.3	97.9

資料8-2 平成24年・標準化死亡比(全国=100)

	総数		胃		結腸		直腸		肝臓		肺		前立腺	乳房	子宮
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女
県計	102.8	94.0	120.1	100.0	108.1	94.4	80.2	85.8	118.8	103.9	98.2	107.2	93.4	80.2	112.1
鳥取市	102.5	92.9	126.2	81.6	92.2	88.5	68.6	53.0	130.1	104.4	90.4	104.8	83.2	99.3	100.8
米子市	111.1	100.3	122.8	106.7	155.4	101.9	82.5	83.0	129.7	108.0	105.2	106.3	111.6	110.0	131.6
倉吉市	102.3	91.1	124.8	137.0	78.7	76.3	139.1	100.9	119.1	153.9	110.7	81.8	86.0	33.7	135.4
境港市	119.2	135.2	132.8	126.3	143.7	187.9	140.9	167.3	165.4	57.1	95.8	182.2	113.7	157.1	213.2
岩美郡	120.0	62.3	77.6	39.9	259.6	41.2	-	257.7	84.7	128.1	129.1	103.0	206.1	65.6	-
八頭郡	96.8	87.7	149.2	66.6	79.5	86.0	106.2	-	130.9	105.3	80.6	128.0	51.6	27.3	109.0
東伯郡	97.7	97.4	121.6	109.7	132.6	104.1	77.9	203.5	72.7	131.9	113.9	109.8	87.2	43.7	117.1
西伯郡	79.5	76.0	88.4	121.9	40.8	80.1	48.1	35.5	78.3	53.5	72.1	85.7	124.9	36.4	73.0
日野郡	100.8	71.8	70.8	84.4	-	57.7	-	-	119.5	43.7	120.5	96.3	-	-	-
鳥取保健所	102.6	90.1	126.8	76.5	100.2	84.9	70.2	57.9	127.4	106.0	91.2	108.3	85.6	86.8	95.8
倉吉保健所	99.8	94.5	123.1	122.3	107.9	91.2	105.8	155.8	93.9	142.0	112.4	96.8	86.7	39.1	125.5
米子保健所	104.9	99.8	116.2	113.3	126.2	109.4	83.7	84.4	123.3	86.9	95.8	112.8	115.2	100.9	130.9
日野保健所	100.8	71.8	70.8	84.4	-	57.7	-	-	119.5	43.7	120.5	96.3	-	-	-





資料10-1 主要部位別年齢調整罹患率および死亡率の全国比較(男性)

			1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	
年齢調整罹患率 (人口10万対)	全部位	全国	362.5	372.0	367.0	365.8	372.7	375.1	365.3	373.2	381.7	374.5	380.6	
		鳥取	362.7	410.7	434.1	422.3	410.0	373.4	400.9	383.8	399.7	391.7	388.3	
	胃	全国	103.4	102.0	94.5	93.6	93.4	93.6	87.8	87.1	87.1	83.2	84.5	
		鳥取	114.0	123.8	124.5	122.6	111.2	99.0	97.0	99.3	92.4	91.0	94.1	
	結腸	全国	35.1	41.7	42.8	44.6	42.3	43.3	40.0	42.3	43.8	40.9	42.8	
		鳥取	31.3	34.9	47.6	45.6	42.6	41.3	54.2	42.9	38.8	35.4	44.2	
	直腸	全国	21.2	23.9	22.9	23.5	24.5	25.5	24.3	25.9	25.7	24.9	25.5	
		鳥取	25.2	26.1	29.8	27.5	28.7	25.5	25.0	23.5	24.5	21.3	18.5	
	肝臓	全国	35.3	35.6	34.8	33.3	34.4	33.0	32.4	32.8	32.4	32.8	32.3	
		鳥取	44.5	46.3	41.6	41.7	34.6	36.8	40.8	37.9	42.1	45.0	35.9	
	肺	全国	53.4	53.7	53.5	53.5	53.8	55.6	54.8	55.9	55.7	57.1	56.6	
		鳥取	51.4	65.8	54.4	54.0	57.1	44.7	62.4	63.2	56.0	57.5	62.2	
	前立腺	全国	14.7	15.6	16.4	17.5	18.1	19.2	19.7	20.4	20.7	22.9	26.2	
		鳥取	10.9	12.3	18.5	19.9	20.9	19.6	18.1	17.7	28.0	24.6	22.0	
				2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
	全部位	全国	384.9	409.8	400.4	408.4	407.1	423.2	444.8	446.9	462.4	519.7	484.6	
		鳥取	403.9	429.7	444.4	464.2	472.3	462.7	500.3	511.3	503.3	527.0	540.3	
	胃	全国	81.3	81.1	79.6	83.9	80.8	78.9	80.5	78.9	79.7	80.4	79.6	
鳥取		96.0	92.5	99.1	105.2	98.5	93.5	100.2	90.8	92.7	91.9	94.4		
結腸	全国	41.9	43.0	43.5	45.0	45.4	45.8	48.6	48.4	50.6	55.7	57.8		
	鳥取	42.8	43.2	53.9	41.5	50.1	44.1	51.1	51.6	52.6	52.1	57.6		
直腸	全国	28.8	26.4	25.0	26.3	28.0	28.4	29.5	30.0	30.3	33.4	35.9		
	鳥取	24.2	30.6	22.8	28.9	29.2	28.1	23.6	34.0	41.6	33.1	35.0		
肝臓	全国	31.6	31.9	30.2	30.1	29.5	29.8	30.9	29.9	28.7	26.1	25.2		
	鳥取	40.4	34.2	37.3	41.6	38.8	36.1	35.3	33.0	34.9	35.2	33.4		
肺	全国	57.4	59.6	58.2	58.5	58.2	61.6	62.0	64.1	64.6	64.7	64.5		
	鳥取	63.8	64.4	66.5	69.3	71.0	64.9	67.0	79.5	73.2	69.5	70.9		
前立腺	全国	31.4	41.4	39.7	42.0	40.2	43.5	46.1	52.0	56.0	66.8	60.5		
	鳥取	22.7	40.9	36.1	44.1	42.8	35.0	51.6	52.2	47.4	62.1	59.3		

			1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	
年齢調整死亡率 (人口10万対)	全部位	全国	215.6	216.8	214.1	214.7	226.1	225.7	221.3	221.0	219.0	214.0	209.4	
		鳥取	213.6	233.8	237.5	223.7	244.2	228.0	225.5	224.0	224.6	220.2	216.2	
	胃	全国	48.7	47.4	45.2	44.7	45.4	44.3	42.6	42.1	40.8	39.1	37.1	
		鳥取	48.3	46.6	55.5	49.2	45.9	47.2	47.2	39.2	39.5	43.0	36.4	
	結腸	全国	13.2	13.7	13.8	14.1	14.8	15.1	14.7	14.8	14.7	14.4	14.2	
		鳥取	9.9	13.9	13.8	12.7	18.2	13.2	17.6	16.0	14.4	12.4	16.0	
	直腸	全国	8.9	9.3	9.0	8.9	9.7	9.6	9.5	9.6	9.4	9.3	9.2	
		鳥取	8.0	11.0	9.1	8.3	10.2	12.1	7.6	12.3	10.4	10.3	9.5	
	肝臓	全国	28.2	28.5	28.4	28.7	31.6	30.8	29.9	29.9	29.0	28.2	27.3	
		鳥取	34.5	31.9	36.6	32.6	35.4	27.6	34.4	27.3	33.6	30.9	32.2	
	肺	全国	45.3	45.8	46.1	46.7	47.5	48.1	47.3	47.3	47.0	46.3	45.6	
		鳥取	45.7	50.2	47.9	43.3	52.8	47.9	44.1	49.6	45.1	48.9	45.5	
	前立腺	全国	6.4	6.5	6.6	7.0	7.7	8.2	8.2	8.6	8.5	8.6	8.4	
		鳥取				6.1	6.7	6.9	8.7	7.6	7.1	8.0	10.3	
				2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
	全部位	全国	205.1	201.7	202.0	197.7	193.6	191.5	188.9	183.3	182.4	179.4	175.7	
		鳥取	209.5	216.7	213.1	203.4	203.6	202.3	204.6	190.5	198.3	198.0	182.1	
	胃	全国	35.3	34.5	34.2	32.7	31.9	31.1	30.0	29.0	28.2	27.4	26.1	
鳥取		41.2	39.7	37.1	30.4	34.3	32.3	31.7	29.4	35.7	31.1	31.9		
結腸	全国	13.9	13.8	13.9	13.4	13.3	13.2	13.2	12.5	12.8	13.0	13.0		
	鳥取	12.2	14.8	16.9	13.9	12.3	14.3	13.5	13.1	11.8	12.3	13.6		
直腸	全国	9.1	9.0	9.2	9.0	8.8	8.8	8.6	8.0	8.2	8.5	8.4		
	鳥取	6.3	8.8	6.0	10.1	10.6	8.6	7.2	8.5	8.1	9.3	6.1		
肝臓	全国	26.7	25.5	24.8	23.7	22.4	21.5	20.9	19.7	19.0	18.0	16.7		
	鳥取	28.4	25.9	31.4	26.2	23.0	28.4	25.7	22.5	25.0	21.5	20.0		
肺	全国	45.3	44.2	45.2	44.6	44.0	44.0	43.5	42.5	42.4	41.7	41.0		
	鳥取	46.6	44.0	43.7	48.0	47.8	44.8	43.2	43.5	49.2	49.2	40.5		
前立腺	全国	8.5	8.5	8.5	8.5	8.4	8.2	8.1	7.7	8.0	7.8	7.6		
	鳥取	8.2	8.4	7.7	7.7	7.8	9.4	8.1	9.3	7.8	8.0	6.5		







## 参考資料1 鳥取県がん登録事業実施要綱

(趣旨)

**第1条** この要綱は、鳥取県がん登録事業（以下「がん登録」という。）の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(事業の目的)

**第2条** がん登録は、本県における悪性新生物患者の疫学及び診療面での実態を把握するため、悪性新生物の登録を行い、もって悪性新生物予防対策推進上の基礎資料とし、県民の保健衛生の向上に寄与することを目的とする。

(事業の実施)

**第3条** がん登録は、県が鳥取県健康対策協議会（以下「健対協」という。）に委託して実施する。

(登録の対象)

**第4条** がん登録は、次に掲げる者（以下「登録対象者」という。）について行う。

(1) 県内居住者で次に掲げる疾患（良性と明記されていない脳腫瘍及び内分泌腫瘍を含む。）と診断又は疑診された者

ア 悪性新生物

イ 上皮内癌

ウ 性質不詳の新生物

(2) 県内居住者で死亡した者のうち、人口動態調査（昭和22年指定統計第5号）死亡小票（以下「死亡小票」という。）のいずれかの欄に悪性新生物又は性質不詳の新生物の記載のある者

(登録事項)

**第5条** がん登録は、登録対象者に係る次に掲げる事項（以下「登録事項」という。）について登録する。

(1) 氏名

(2) 性別

(3) 生年月日

(4) 現住所

(5) 診断名

(6) 病理組織診断名

(7) 病巣の拡がり

(8) 初診年月日

(9) 症状初発年月

(10) 受診の動機

(11) 診断・疑診年月日

(12) 診断根拠

(13) 治療方法

(14) 生存状況

(登録の方法)

**第6条** がん登録は、次により行う。

(1) 届出票による登録

ア 健対協は、医療機関に対し、患者が登録対象者に該当するときは、届出票（様式第1号）の提出を求めることができるものとする。

イ 健対協は、提出された届出票について記入漏れ、重複の有無、疑義又は不明事項の有無等を確認し、必要に応じて届出した医療機関に問い合わせるものとする。この場合、健対協は、当該医療機関に対し、問合せ票（様式第2号）の提出を求めることができるものとする。

ウ 健対協は、登録対象者に係る登録事項を記入するための冊子又は電子媒体（以下「腫瘍登録簿」という。）を作成し、確認済の届出票の内容を腫瘍登録簿に登録するものとする。

(2) 死亡小票による登録

ア 県は、管内保健所から死亡小票の写しの提供を受け、健対協に送付するものとする。

イ 健対協は、腫瘍登録簿と死亡小票を照合して、登録済の登録対象者の死亡が確認された場合は、その旨を腫瘍登録簿に登録するものとする。  
ウ 健対協は、腫瘍登録簿と死亡小票を照合して、死亡小票に未登録の登録対象者が記載されていた場合は、当該登録対象者を腫瘍登録簿に登録するものとする。この場合、死亡診断書を作成した医療機関に対し、当該登録対象者に係る補充票（様式第3号）の提出を求めることができるものとする。

（予後の調査）

**第7条** 健対協は、登録済の登録対象者の生死の状況を確認するため、医療機関に対し必要に応じて追跡票（様式第4号）の提出を求めることができるものとする。

2 前条第1号イ及びウの規定は、前項の規定による予後の調査をする場合について準用する。

（解析及び評価）

**第8条** 健対協は、第6条及び第7条による登録に基づき解析及び評価を行い、罹患率その他の数値を算出するものとする。

（結果の報告）

**第9条** 健対協は、前条による結果並びに第6条及び第7条による登録の状況を毎年1回以上県に報告するものとする。

2 健対協は、前項の報告の提出に当たって、当該報告に係る疾病の予防対策、患者の管理対策等について意見を付することができる。

（結果の公表）

**第10条** 県は、第8条による結果を、毎年、速やかに公表するものとする。

（利用及び提供の制限）

**第11条** がん登録に従事する者は、届出票その他のがん登録に係る情報の取扱いを厳重に行うとともに、第2条に掲げる目的以外の目的のために登録対象者に係る登録事項をがん登録に従事する者において利用し、又はがん登録に従事する者以外の者に提供してはならない。ただし、疫学研究への活用等提供することに公益上の必要その他相当な理由があると県が認めるときは、この限りでない。

（情報の提供）

**第12条** 県は、前条ただし書の規定により登録対象者に係る登録事項を提供しようとするときは、提供を受ける者に対し、鳥取県個人情報保護事務取扱要綱（平成11年9月29日付鳥取県総務部長通知）に定める個人情報提供申請書のほか、次に掲げる書類のいずれかを提出させるものとする。

（1）承認済の倫理審査申請書

（2）承認済の研究計画書その他前号に準ずる書類

（雑則）

**第13条** この要綱に定めるもののほか、がん登録の実施について必要な事項は、福祉保健部長が別に定める。

附 則

1 この要綱は、平成17年5月26日から施行し、平成17年度事業から適用する。

2 成人病登録実施要綱は、廃止する。

## 参考資料 2

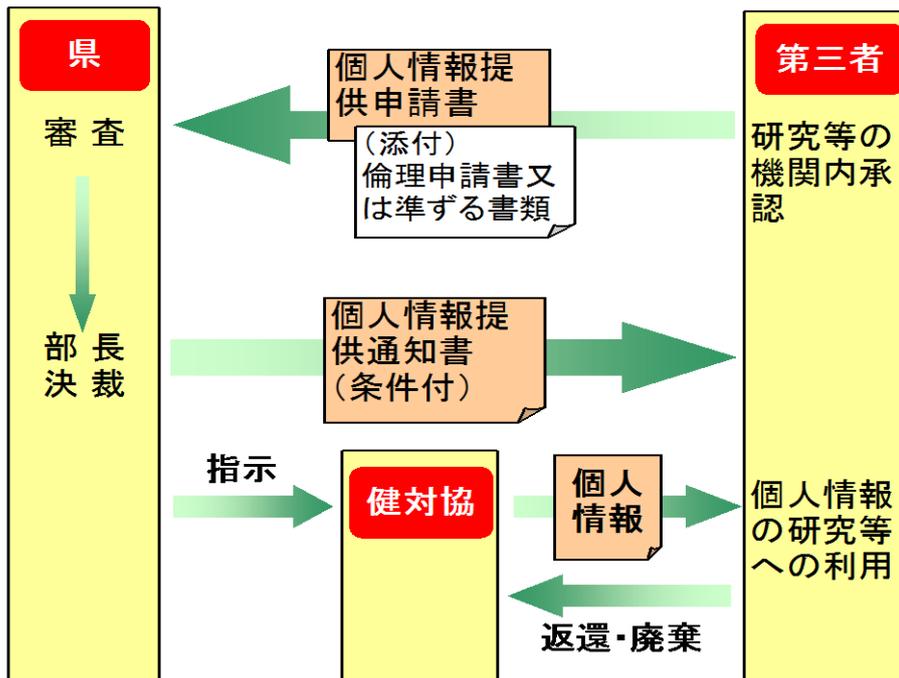
### 登録情報の提供および疫学研究等での利用手続き

鳥取県がん登録事業実施要綱第11条および第12条の趣旨に基づき、所定の手続き、審査を経て、情報の提供を受けることができる。その趣旨と手続き方法を以下に示す。

#### 趣旨

がん登録事業で収集される個人情報について、疫学研究等での利用を目的とする第三者に提供する際には、鳥取県個人情報保護事務取扱要領に基づき、次の手順で行う。

- ① 第三者が「個人情報提供申請書」に、第三者が所属する機関で承認を得た倫理申請書又はこれに準ずる書類を県に提出する。
- ② 県は審査の結果、適当と認めるときは、「個人情報提供通知書」を条件を付した上、交付する。
- ③ 県は委託先の健対協に指示して、第三者の求める個人情報を提供させる。
- ④ 第三者は個人情報を利用した後は、健対協に返還するか廃棄する。



#### ■ 個人情報提供の申請・審査・条件付提供通知・提供の流れ

様式 1 号



# 鳥取県がん登録届出票

(1) 届出機関名 ・所在地  
・名称 \_\_\_\_\_

ふりがな ( )  
(2) 患者氏名： (姓) (名) (3) 性別： 1. 男 2. 女

(4) 生年月日： 1. 明 2. 大 3. 昭 4. 平 年 月 日

(5) 現住所： 鳥取 県 市 町 村 番地 号  
\_\_\_\_\_ 郡 \_\_\_\_\_ 番 \_\_\_\_\_

(6) 診断名： \_\_\_\_\_ 腫瘍占居部位 \_\_\_\_\_  
1. 初発 (治療開始前) 2. 治療開始後 3. 疑診

(7) 病理組織診断名： ( ) ※例：「扁平上皮癌」「高分化腺癌」など

(8) 病巣の拡がり： 1. 上皮内 2. 当該臓器に限局 3. 所属リンパ節転移 4. 隣接臓器浸潤 5. 遠隔転移 6. 不明

(9) 初診年月日： 年 月 日

(10) 受診の動機： 1. 有訴受診 2. 健康診断 (人間ドック等) 3. 各種がん検診 4. 他疾患治療中 5. その他

(11) 診断・疑診年月日： 年 月 日

(12) 診断根拠：前医の情報も含めて診断の根拠とした検査を、数字の小さい方を優先して一つだけ記入してください  
1. 原発巣の組織診 2. 転移巣の組織診 3. 細胞診 4. 部位特異的な腫瘍マーカー  
5. 臨床検査 6. 臨床所見のみ

(13) 治療方法：該当するものの番号には ○、最も中心となっている治療方法に、1つだけ ◎を付けて下さい  
1. 外科的手術 }  
2. 体腔鏡的手術 } ⇒ a. 治癒切除 b. 非治癒切除 c. その他  
3. 内視鏡手術 (ポリペクトミーを含む)  
4. 放射線療法 5. 化学療法 6. ホルモン療法 7. 免疫療法 8. 対症療法のみ  
9. その他 (TAE, PEIT, ラジオ波, 温熱, レーザー焼灼 MCT/MCNT, 骨髄移植 )

(14) 現在の状態：  
1. 生存中 (最終生存確認年月日 年 月 日)  
2. 死亡 (死亡年月日 年 月 日) ⇒ 死因 a. がん死 b. 他病死  
3. 不明 死因名 ( )

(15) 患者が貴院受診前に他機関を訪れている場合はその診療機関名を記載ください。  
\_\_\_\_\_

(16) 患者を他機関に紹介された場合はその医療機関名を記載してください。  
\_\_\_\_\_

この欄は記入しないでください。

※ 受付年月日： \_\_\_\_\_

※ 受付番号： NO. \_\_\_\_\_

※ 登録番号： NO. \_\_\_\_\_

## 参考資料 4

# 鳥取県がん登録届出票記入要領

(2011年6月改訂版)

- 届出対象住所 : 鳥取県内在住者(他府県住所の患者は、届出があっても登録・集計に含めない)  
同上 疾患 : 全悪性新生物(上皮内がんを含む)または頭蓋内の新生物(良性及び性状不詳の新生物を含む)  
届出票の提出 : 1. 貴院における治療終了時  
入院患者:新発生のがんに対する一連の治療が終了した時、または退院時  
外来患者:(1)外来治療終了時、(2)検査・治療のために他院に紹介した時  
2. 多重がんの診断時(各々の部位について別々に届出票を作成)  
3. 悪性新生物と診断されていた患者が死亡した時

今年から届出項目の(6)診断名および(13)治療方法の選択内容が変更になりましたのでご注意ください。  
なお、再通知の場合は、**最低(1)~(6)**の項目と**追加・訂正・更新のあった項目**のみの記入でも構いません。  
記入に際しましては、できるだけ分かりやすい表記をお願いします。  
また、貴院で既に新発生のがんの届出をした者の再発例の届出は不要です。

### 必須項目(1)~(6)

- (1)届出機関・所在地・名称 : 貴病院・医院・診療所の所在地と名称を記入して下さい。  
レセプトなどに使用されるスタンプでも構いません。
- (2)患者氏名 : 姓と名の間は1文字空けて、氏名には必ず正しいふりがなを付けて下さい。  
(個人情報の取扱いには、細心の注意を払っております)。
- (3)性別 : 該当する番号を○で囲んで下さい。
- (4)生年月日 : 和暦で生年月日を記入。元号は、該当する番号を○で囲み、年月日を記入して下さい。  
この項は、登録照合の第1指標として活用されますので、お書き間違いのないようにお願いいたします。
- (5)現住所 : 県内居住者は市・郡からお書き下さい。市・郡・町・村の文字は該当するものを○で囲んで下さい。  
注) 受診のために仮の住所に滞在されている場合は、本来の住所を記入して下さい。
- (6)診断名 : 診断名中には分類のため腫瘍発生の臓器を記入して下さい。  
なお、明確に悪性を示す言葉のない診断名(例一膀胱腫瘍)の場合、もし悪性であることが判明していれば、悪性の言葉を頭に付けて下さい。悪性の言葉がないと、性状不詳の新生物に分類されます。  
また、上皮内癌の症例には上皮内癌、再発の症例には再発とお書き添え下さい。

◎腫瘍占居部位 : 診断名に示された臓器内の腫瘍の占居部位は可能な限り書いて下さい。

例 : 診断名:胃がん→**腫瘍占居部位:噴門部**、診断名:膀胱がん→**腫瘍占居部位:尿管口**

診断名:肺がん→**腫瘍占居部位:上葉**、診断名:乳がん→**腫瘍占居部位:C(外側上部)**

初発(治療開始前)・治療開始後・疑診 : 貴医療機関における判断により、該当する番号を○で囲んで下さい。

※コード化しますので略語の利用は避けて、できるだけ読みやすい表記をお願いします。

※多重がんの場合は、各々のがんについて別々に届出票を作成して下さい。

◎(7)病理組織診断名 : 病理組織検査による診断名《組織型》を記入して下さい。

例：扁平上皮癌、高分化型腺癌、低分化型管状腺癌、移行上皮癌、硬性腺癌、肝細胞癌

※病理組織所見(肺の腺癌・扁平上皮癌、胃の低分化腺癌、B細胞慢性リンパ性白血病、など)がますます重要になっていますので、病理組織型<分化度、リンパ腫・白血病の免疫学的表現型を含め>を漏れなく記入して下さい。できるだけ読みやすい表記をお願いします。

(8)病巣の拡がり：悪性新生物と診断された病巣の拡がりについて該当する番号を○で囲んで下さい。

- 1.上皮内 2.当該臓器に限局 3.所属リンパ節転移 4.隣接臓器浸潤 5.遠隔転移 6.不明

(9)初診年月日：(6)診断名に記載の腫瘍のために、患者が貴医療機関を最初に受診した年月日を記入して下さい。

(10)受診の動機：腫瘍の発見の経緯を把握するための項目。該当する番号を○で囲んで下さい。

- 1.有訴受診 2.健康診断(人間ドック等) 3.各種がん検診 4.他疾患治療中 5.その他

(11)診断・疑診年月日：貴医療機関が、患者を(6)診断名に記載の腫瘍と診断または疑診(記入時点でおそらく疑診に留まっている場合)の年月日を記入して下さい。

(12)診断根拠：前医の情報も含めて診断の根拠とした検査を、数字の小さい方を優先して一つだけ記入して下さい。

1. 原発巣の組織診…白血球の骨髄穿刺は、この項に含む。
2. 転移巣の組織診。
3. 細胞診…喀痰、尿沈渣、腔分泌物などによる剥離細胞診、TV ブラッシ、ファイバースコープなどによる擦過あるいは吸引細胞診、洗滌細胞診を含む。白血病及び悪性リンパ腫の一般血液検査も、この項に含む。
4. 部位特異的な腫瘍マーカー…絨毛癌のHCG、前立腺がんのPSA、肝がんのAFP、神経芽細胞腫のHVA・VMA、など。
5. 臨床検査…X線、CT、MRI、RI、PET、超音波などの画像診断、内視鏡。組織診、細胞診を伴わない試験開腹・開胸・解剖。CEAなどの非特異的腫瘍マーカー、など。
6. 臨床所見のみ…上記1-5を伴わない視触診。

(13)治療方法：貴医療機関が実施された治療方法の番号を○で囲んで下さい。

なお、最も中心となっている治療方法に、1つだけ◎を付けて下さい。

- |                     |     |                      |
|---------------------|-----|----------------------|
| 1.外科的手術             | } → | a.治癒切除、b.非治癒切除、c.その他 |
| 2.体腔鏡的手術            |     |                      |
| 3.内視鏡手術(ポリペクトミーを含む) |     |                      |
- ※上記治療結果は、該当する記号を○で囲んで下さい。
- 4.放射線療法 …… 放射線治療。主治療の他、術前術後照射も含む。
  - 5.化学療法 …… 抗がん剤投与。術中投与も含む。肝がんのTAIは、ここに含める。
  - 6.ホルモン療法 …… ホルモン剤投与。自己のホルモン分泌を制御するための摘除術、あるいは放射線照射
  - 7.免疫療法 …… 悪性腫瘍に対する自己免疫を強化する目的で行われるBCGなどの投与。
  - 8.対症療法のみ …… 1.~7.、および9.以外の治療方法を行わず、対症療法のための治療。
  - 9.その他 …… 1.~8.以外の治療方法による治療。該当する治療法を○で囲んで下さい。

その他、それ以外の治療をした場合にはその治療名を記入して下さい。

TAE …肝動脈塞栓療法。

PEIT …経皮的エタノール注入法。

ラジオ波

温熱 …病巣に対して行った温熱療法。

レーザー焼灼 … レーザー光線によるがん病巣の焼灼。

MCT/MCNT(Microwave coagulation necrosis therapy) …マイクロ波 凝固壊死療法。

骨髄移植

(14)現在の状態 : 貴医療機関が確認している最新の患者の状態について、該当する番号を○で囲んで下さい。

なお、生存中の場合には、最終生存確認年月日を、死亡の場合には、死亡年月日および死因を選択し、該当する番号を○で囲み、死因名を記入して下さい。

1.生存中

2.死亡

3.不明



死因

1.がん死

2.他病死

死因名(

)

(15)前医療機関 : (6)診断名に記載の腫瘍のために、患者が貴医療機関を受診する前に受診した医療機関があれば、その医療機関名を書いて下さい。

(16)紹介医療機関 : (6)診断名に記載の腫瘍のために、患者を他の医療機関に紹介された場合には、その医療機関名を書いて下さい。

[ 問い合わせ先 ]

1. 届出票・専用封筒の請求

2. 届出票の記載方法

3. 電子媒体による鳥取県 地域がん登録管理システム(Ver.2)入力ソフトの取得&活用方法

いずれも、鳥取県医師会内 鳥取県健康対策協議会事務局へ。

電話:0857-27-5566 Fax:0857-29-1578

〒680-8585 鳥取市戎町 317 番地

## 病理組織略語表

Malignant Tumor 届出票の病理組織を記入時に参照してください。

### 部位共通

病理組織名	略語
腺がん	ad.ca.
管状腺がん	tub
高分化型管状腺がん	tub1
中分化型管状腺がん	tub2
低分化型管状腺がん	tub3
印環細胞がん	sig
粘液がん	muc
乳頭腺がん	pap
扁平上皮がん	sq.C.C.
腺扁平上皮がん	asc
肝細胞がん	HCC
胆管細胞がん	CCC
腎細胞がん	RCC
未分化がん	ud
小細胞がん	SmCC
移行上皮がん	TCC
基底細胞がん	BCC
上皮内がん	CIS

### 部位固有

#### 乳がん

病理組織名	略語
乳頭腺管がん	Pap tub
充実腺管がん	Solid tub
硬がん	Sci

#### 胃がん・大腸がん・前立腺がん

病理組織名	略語
低分化腺がん	por,por1,por2

#### リンパ腫・白血病

病理組織名	略語
悪性リンパ腫	ML
非ホジキンリンパ腫	NHL
急性リンパ芽球性白血病	ALL
急性骨髄性白血病	AML
慢性リンパ球性白血病	CLL
慢性骨髄性白血病	CML
成人 T 細胞白血病	ATL

#### 白血病の FAB 分類

L1 ~3, MO ~7

### 分化度

病理組織名	略語
Well differentiated	W/D ,Well diff
Moderately differentiated	M/D ,Mod diff
Poorly differentiated	P/D ,Poorly diff
Undifferentiated	Undiff

## がん登録対策専門委員会

委員長：尾崎 米厚（鳥取大学医学部環境予防医学教授）

平成 29 年 3 月現在

明徳 政裕（鳥取県医師会常任理事）	杉谷 篤（米子医療センター臨床研究部長）
池口 正英（鳥取県立中央病院長）	角 賢一（鳥取県西部医師会理事）
井藤 久雄（鳥取県立厚生病院長）	瀬川 謙一（鳥取県医師会常任理事）
岩垣 陽子（鳥取県医師会事務局）	辻谷 俊一（鳥取大学医学部附属病院がんセンター長）
大石 正博（鳥取市立病院診療局長）	野田 博司（鳥取県中部医師会理事）
岡田 克夫（鳥取県医師会常任理事）	藤井 秀樹（鳥取県福祉保健部健康医療局長）
岡本 幹三（鳥取大学医学部附属病院がんセンター 特任教員）	村上 健一（鳥取県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）
黒沢 洋一（鳥取大学医学部健康政策医学教授）	吉田 良平（倉吉保健所長）
小坂 博基（鳥取県東部医師会理事）	

敬称略

### 編集後記

2016年は、全国がん登録開始の記念すべき年となりました。2016年診断については拠点・準拠点病院からの届出が保留となっており、その他の中小病院・診療所からの231件の届出ということで、なかなか実感が湧かない感があります。

がん登録全国協議会の学会（金沢市）や昨年末の研修会などを通して、全国がん登録の取り扱いをはじめ、登録データの利活用にあたっての議論が先行しているものの、手元にデータがないことと、今後の登録データの利用が審議会に申請して承認を得ないといけない、とか不安材料も多く、実際のところ、遡り調査や最終的な集約作業が終わって集計解析の運びとなる1年先にならないと何もわからない状態です。

登録室として最も追われた作業は、標準化データベース（DBS）から全国がん登録への移行作業に手間取ったことがあげられます。昨年度のDBSへの変換作業で事業終了と考えていたのが、全国がん登録の法制化・施行で、期せずして全国がん登録への移行作業が新たな作業として発生したことによるものです。照合・チェック・エラー修正といった難しい判断を要する作業に追われました。

そのほか本年度の特筆すべきことは、新たに臨床進行度分布を掲載したこと、生存率の公表に向けた検討会（鳥取県がん登録あり方検討ワーキンググループ）が実施されたこと、がん登録室の安全管理措置に係る外部監査を受けたことです。進行度分布は、生存率の評価には不可欠ですし、生存率の公表は、検討すべきことは多々ありますが、提供していただいた患者さまをはじめ、各医療機関への情報還元としても有意義なことと考えます。登録室における個人情報の扱いも、時代の流れでしょうか、安全管理の評価は益々厳しくなってきたように思います。

今後4月以降、保留されています拠点・準拠点病院からの届出が、電子媒体かオンラインかわかりませんが、一度に大量のデータが届くことに期待と不安を覚えます。

最後に、報告書は、小林まゆみと岡本の両名で情報収集し編集しました。毎年少しずつ見直して修正を加えてはありますが、皆様の忌憚のないご意見・ご感想をいただけますとよろこびます。

平成 29年 3月 吉日

鳥取県健康対策協議会 がん登録対策専門委員会委員

鳥取大学医学部附属病院 がんセンター 特任准教授 岡本 幹三

鳥取大学医学部環境予防医学分野 がん登録実務担当 小林 まゆみ